

人権問題に関する意識調査
報告書
(概要版)

2026年(令和8年)3月

和歌山市

はじめに

人権とは、人間が生まれながらにして持っている権利であり、すべての人が幸福な生活を営むために欠かすことのできない権利です。

和歌山市では、市民一人ひとりの人権が尊重される社会を実現するために、1994年（平成6年）12月に「和歌山市部落差別をはじめあらゆる差別をなくする条例」を制定し、2000年（平成12年）11月には本市の人権施策の基本的な方向性を示す「和歌山市人権施策推進指針」を策定しました。また、この指針に基づき、施策を計画的かつ効果的に推進することを目的とした「人権施策推進行動計画」を2003年（平成15年）3月に策定し、以降、社会情勢の変化を踏まえた見直しを行いながら、人権意識の高揚と人権尊重の社会環境づくりに努めてまいりました。

このたび、本市がこれまで取り組んできた人権教育・啓発活動等の成果を検証するとともに、市民の皆様の人権に対する意識の変化や動向を把握し、今後の人権に関する施策推進の参考とするため、「人権問題に関する意識調査」を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

今回の調査結果を、本市の人権施策を総合的かつ計画的に推進するための「和歌山市人権施策推進指針」及び「和歌山市人権施策推進行動計画」に反映し、市行政のあらゆる分野で人権尊重の視点に立った幅広い取組を進めてまいります。

最後になりましたが、この調査の実施にあたり、調査にご協力いただきました市民の皆様に厚くお礼申し上げます。

2026年（令和8年）3月

和歌山市長 尾花正啓

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市民のさまざまな人権問題に関する意識の現状を把握し、今後の人権教育及び人権啓発に関する取組をはじめ、今後の人権施策を推進していく上での基礎資料を得るために実施した。

2. 調査の実施方法

- | | |
|----------------|---|
| (1) 調査の対象者 | 18歳以上の和歌山市民 |
| (2) 調査の対象者数 | 3,000人 |
| (3) 調査対象者の抽出方法 | 住民基本台帳より無作為抽出 |
| (4) 調査票の配布方法 | 宅配メール便による送付 |
| (5) 調査票の回収方法 | 郵送及びインターネットにより回答（調査票、返信用封筒及びインターネットによる回答は無記名） |
| (6) 調査期間 | 令和7年5月27日から同年6月30日まで |

3. 調査票の回収結果

- | | |
|------------|-------------------------|
| (1) 調査票発送数 | 3,000人（令和元年度実施時は5,000人） |
| (2) 回収数 | 964人（令和元年度実施時は1,415人） |
| (3) 回収率 | 32.1%（令和元年度実施時は28.3%） |

4. 集計結果についての留意点

- (1) 本文や図表中で比率を表す数値（単位：％）については、小数点第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記載している。
- (2) 各選択肢の回答者の割合として示している数値は、回答総数に対する比率ではなく、回答者数に対する比率である。従って、複数回答（一人の回答者が複数の選択肢を回答する）形式の設問においては、各選択肢の回答率の合計は、原則として100%を超える。
- (3) 上記（1）の処理がなされているために、単一回答（複数選択肢から1つだけ選んで回答する）形式において、図表中に示された各種選択肢の回答率を合計しても100%にならないことがある。

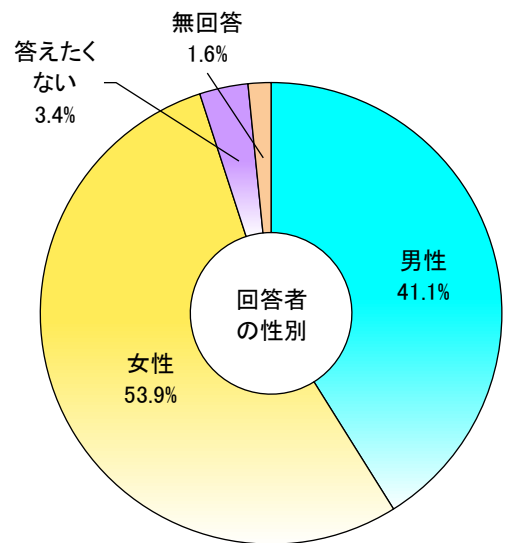
Ⅱ 調査回答者の基本的な属性

1. 回答者の性別

	回収数	割合 (%)
男性	396	41.1%
女性	520	53.9%
答えたくない	33	3.4%
無回答	15	1.6%
全体	964	100.0%

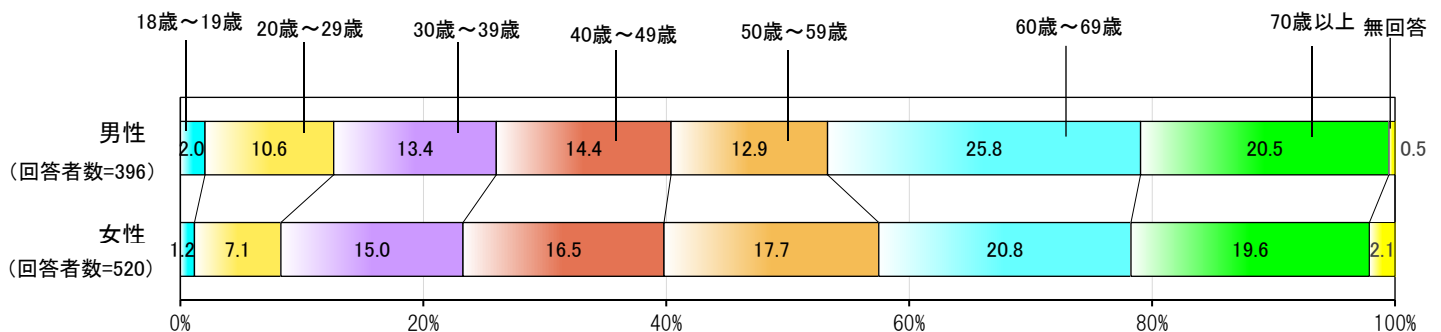
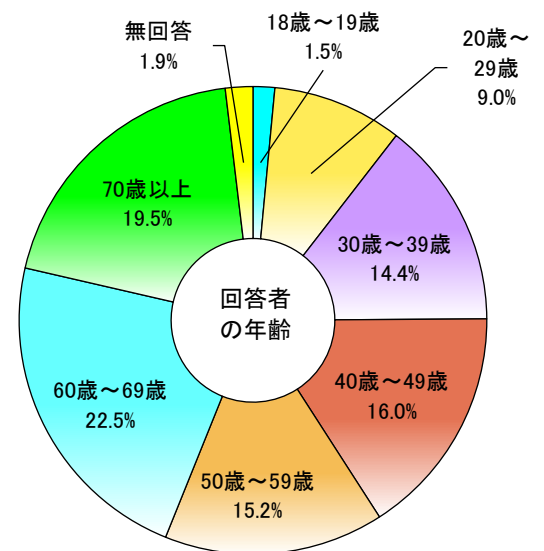
回答者総数は 964 人で、「女性」が 53.9%、「男性」が 41.1%と「女性」の回答が 12.8 ポイント高くなっている。

前回の調査は、「女性」が 57.1%、「男性」が 40.8%であった。



2. 回答者の年代

	回収数	割合 (%)
18歳～19歳	14	1.5%
20歳～29歳	87	9.0%
30歳～39歳	139	14.4%
40歳～49歳	154	16.0%
50歳～59歳	147	15.2%
60歳～69歳	217	22.5%
70歳以上	188	19.5%
無回答	18	1.9%
全体	964	100.0%



回答者の割合を年代別で見ると、「60歳代」が 22.5%と最も高く、次いで「70歳以上」が 19.5%、「40歳代」が 16.0%となっている。

性別・年代別で見ると、男性は 60歳代が最も高く、次いで 70歳以上、40歳代となっている。女性は 60歳代が最も高く、次いで 70歳以上、50歳代となっている。

Ⅲ 調査の結果

1. 人権について

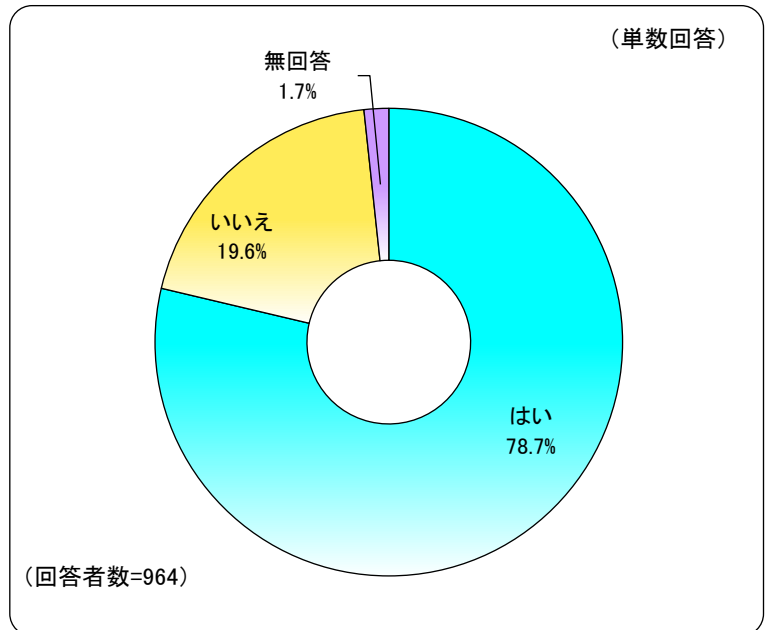
問1 人権の擁護について

あなたの身の回りで人権が守られていると思いますか。(〇は1つだけ)

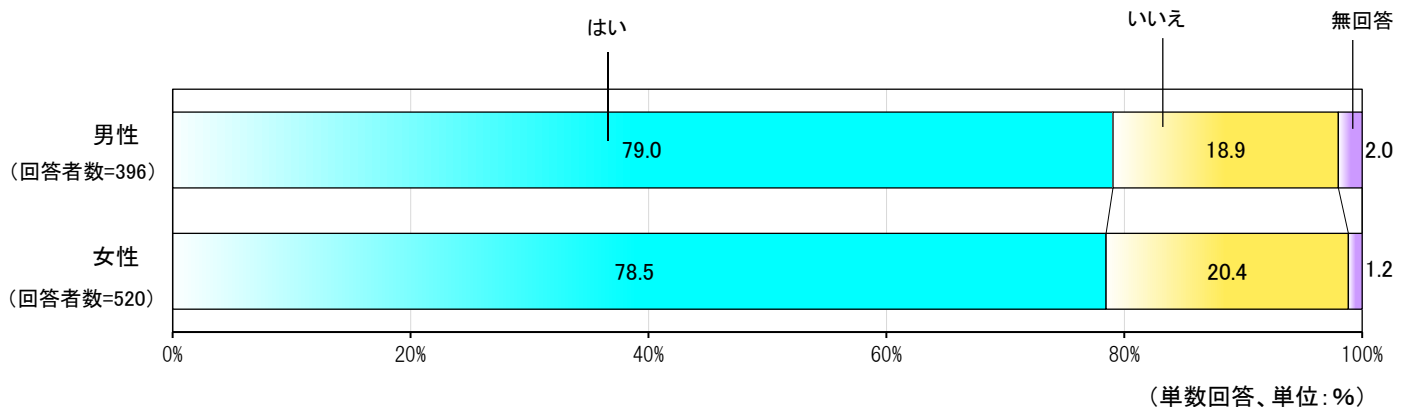
全体集計

人権が守られていると思うかの質問に対しては「はい」の割合が78.7%と8割近くを占めている。

一方、「いいえ」と答えた人の割合は19.6%となっている。



性別集計

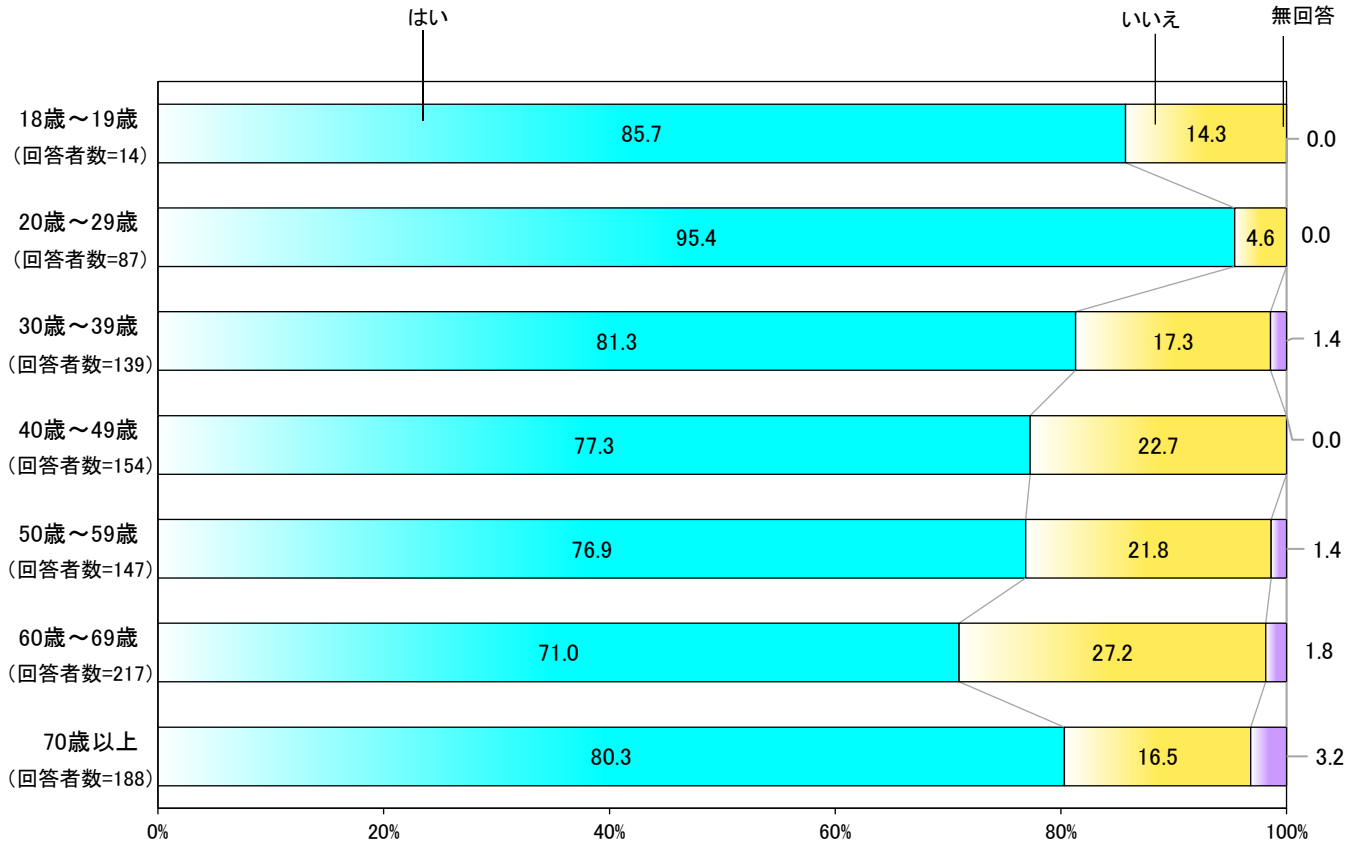


性別で見ると、女性、男性ともに約8割の方が「はい」と回答し、人権は守られていると感じていることがわかる。

また、「いいえ」と答えた割合は、男性 (18.9%) よりも女性 (20.4%) の方が 1.5 ポイント高くなっている。

年代別集計

(単数回答、単位：%)



年代別で見ると、「はい」と答えた人で、最も高かった割合は20歳代で95.4%であり、最も低かったのは60歳代で71.0%となっている。

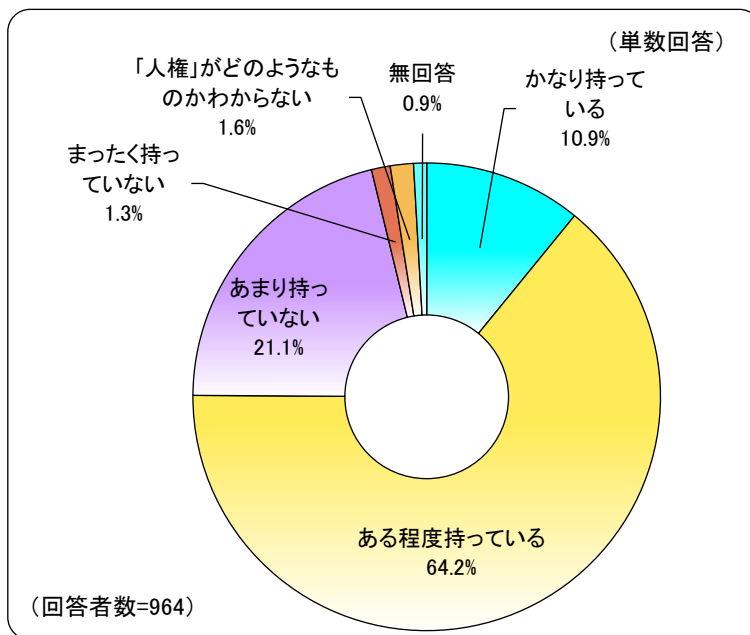
問2 人権についての関心度

あなたは、「人権」に関心を持っていますか。(○は1つだけ)

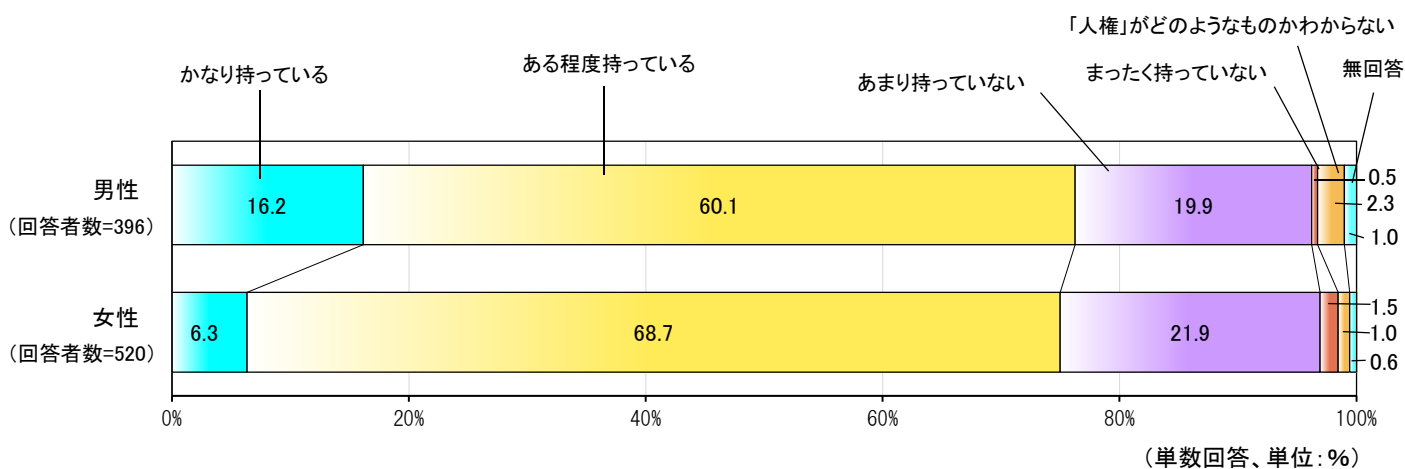
全体集計

「ある程度持っている」の割合が64.2%と最も高く、「かなり持っている」の10.9%と合わせると75.1%が「人権に関心を持っている」としている。

一方、「あまり持っていない」の21.1%と「まったく持っていない」の1.3%を合わせた22.4%が「人権に関心を持っていない」としている。



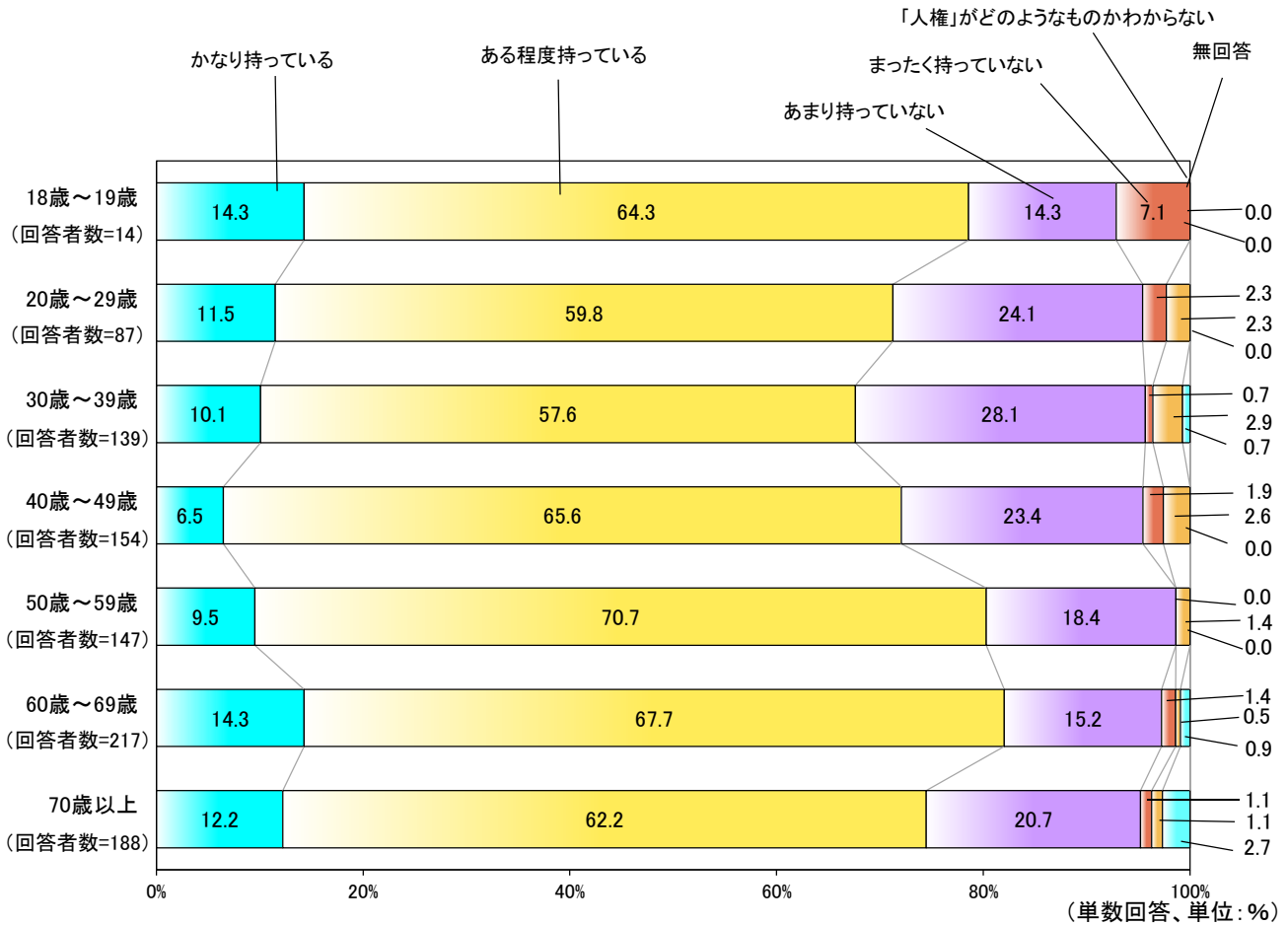
性別集計



性別で見ると、男女ともに「かなり持っている」と「ある程度持っている」を合わせた割合は7割以上であり、「人権に関心を持っている」ことがうかがえる。

また、「あまり持っていない」と「まったく持っていない」を合わせた「人権に関心を持っていない」割合は、男性(20.4%)よりも女性(23.4%)の方が3.0ポイント高くなっている。

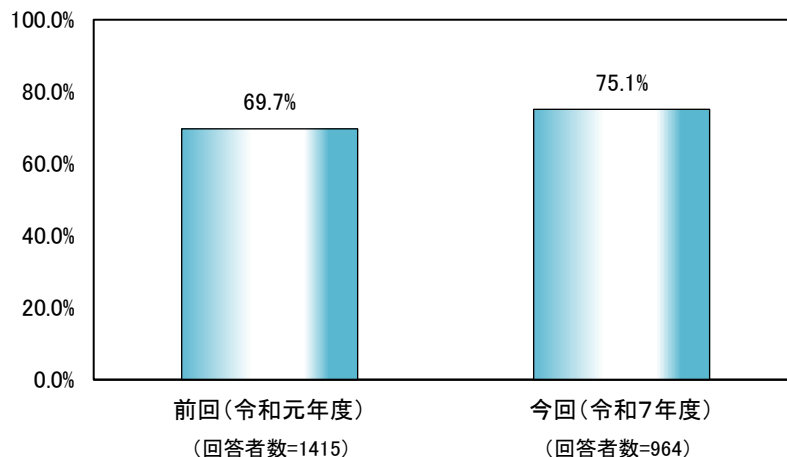
年代別集計



年代別で見ると、「かなり持っている」と「ある程度持っている」を合わせた割合は、60歳代で最も高く、次いで50歳代、10歳代となり、30歳代が最も低くなっている。

過去の調査との比較

「人権に関心を持っている」割合について、前回調査と比較した。

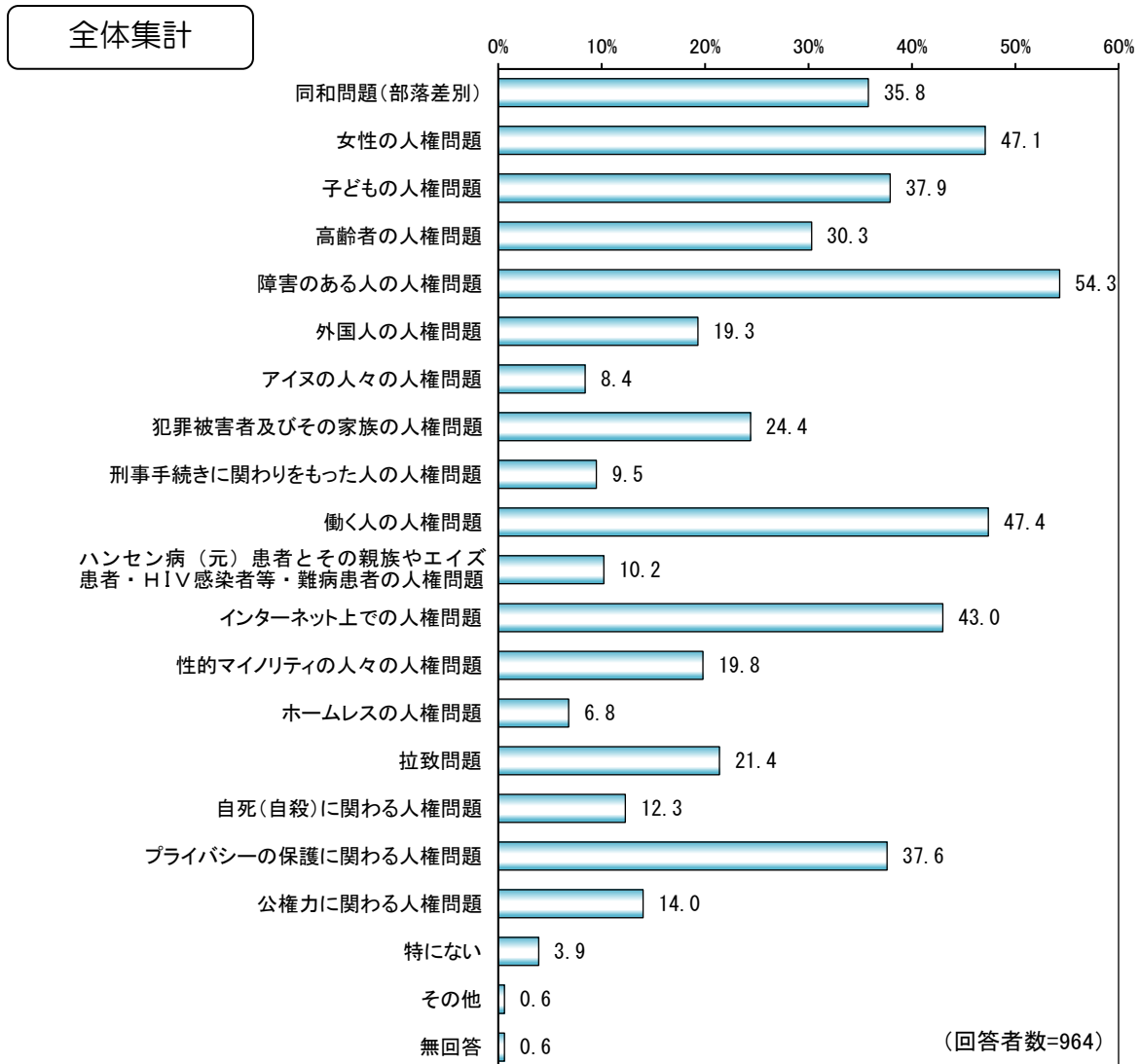


今回の調査において、「かなり持っている」と「ある程度持っている」を合わせた「人権に関心を持っている」割合は前回に比べて5.4ポイント増加している。

問3 関心のある人権問題

あなたは、「人権問題」というと、特にどのような問題に関心がありますか。(〇はいくつでも)

(複数回答、単位：%)



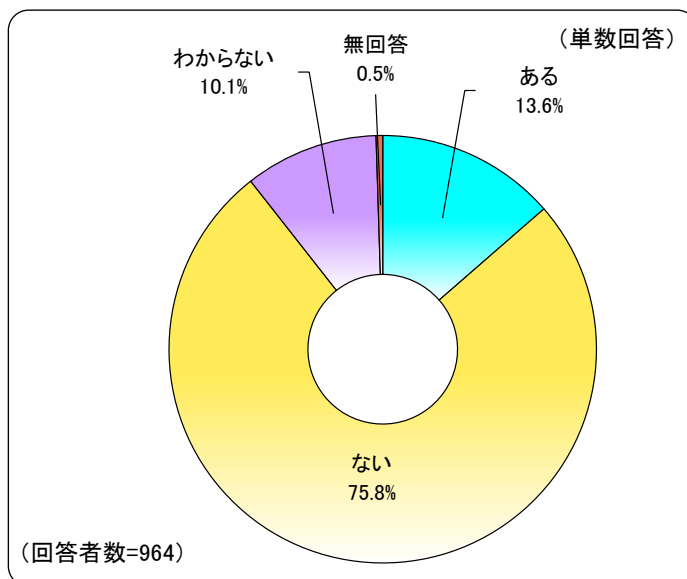
「障害のある人の人権問題」の割合が 54.3% と最も多く、次いで「働く人の人権問題」が 47.4 %、「女性の人権問題」が 47.1%となっている。

問4 自分が受けた人権侵害の有無

あなたは、過去約5年の間に、自分が差別や人権侵害を受けたと感じたことがありますか。
(○は1つだけ)

全体集計

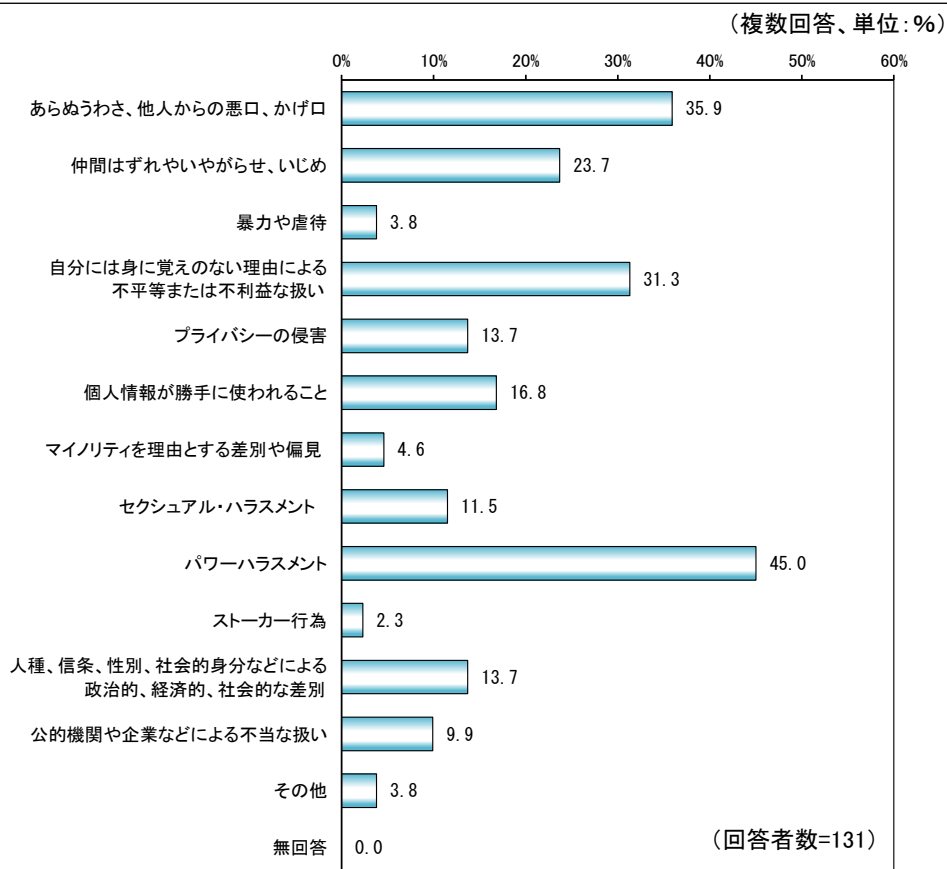
差別や人権侵害を受けたと感じたことが「ない」割合が75.8%と高くみられるものの、受けたと感じたことが「ある」は13.6%となっている。



問4-2 自分が受けた人権侵害の内容

問4で「ある」と答えた方におたずねします。それはどのような場合ですか。(○はいくつでも)

全体集計

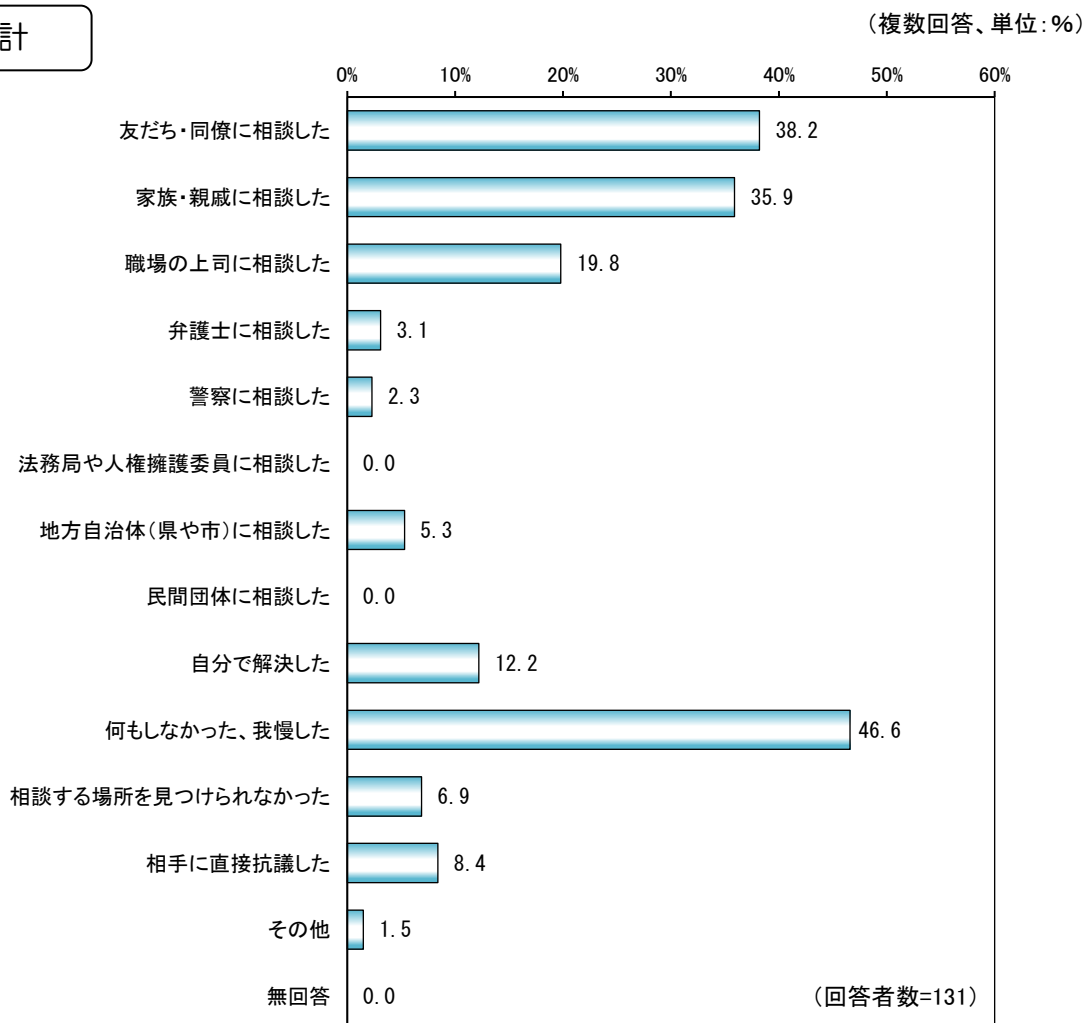


「パワーハラスメント」の割合が45.0%と最も高く、次いで「あらぬうわさ、他人からの悪口、かげ口」が35.9%、「自分には身に覚えのない理由による不平等または不利益な扱い」が31.3%となっている。

問4-3 人権侵害を受けたときの対応

問4で「ある」と答えた方におたずねします。その時どうされましたか。(〇はいくつでも)

全体集計



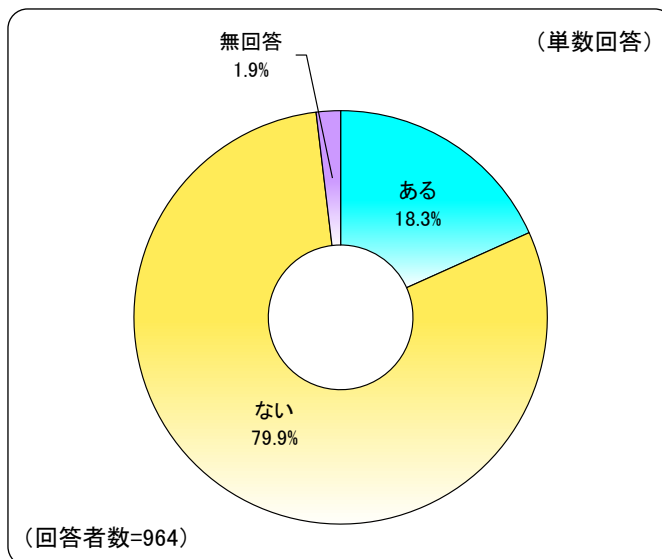
「何もなかった、我慢した」の割合が 46.6%と最も高く、次いで「友だち・同僚に相談した」が 38.2%、「家族・親戚に相談した」が 35.9%となっている。

問5 講演会や研修会への参加の有無

あなたは、過去約5年の間に「人権問題」に関する講演会や研修会に参加したことがありますか。
(〇は1つだけ)

全体集計

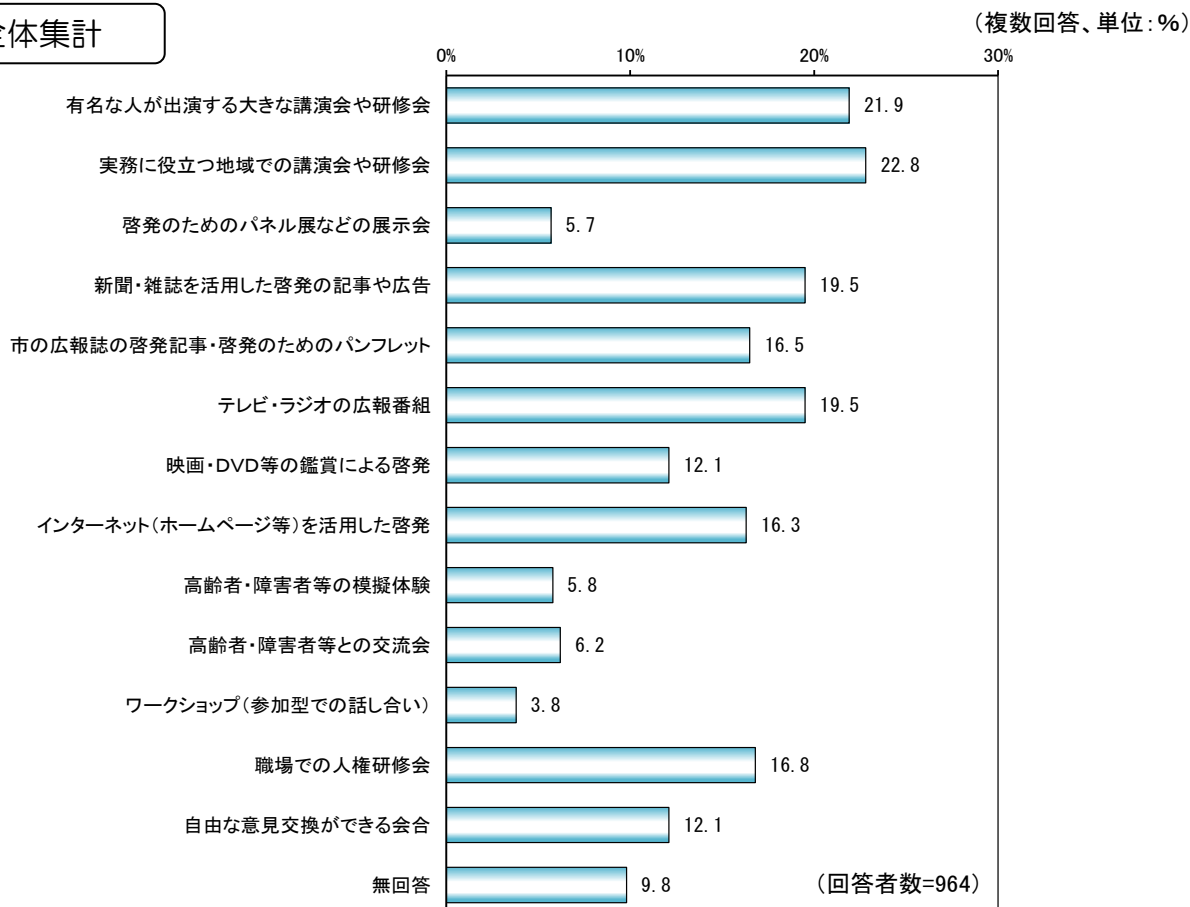
「人権問題」に関する講演会や研修会への参加について、「ある」の割合が18.3%、「ない」が79.9%となっている。



問5-2 参加したい講演会や研修会の啓発活動

あなたは、人権に関するどのような啓発活動があれば参加したい(読みたい、見たい)と思いますか。
(〇はいくつでも)

全体集計



「実務に役立つ地域での講演会や研修会」の割合が22.8%と最も高く、次いで「有名な人が出演する大きな講演会や研修会」が21.9%、「新聞・雑誌を活用した啓発の記事や広告」と「テレビ・ラジオの広報番組」が19.5%となっている。

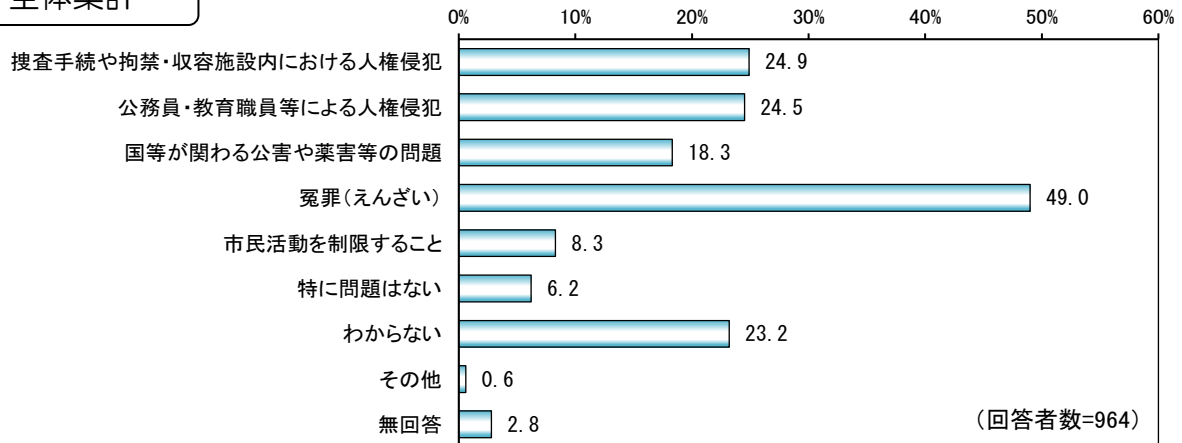
2. 公権力と人権について

問6 公権力に関する人権上の問題点

あなたは、公権力の行使にあたり、現在、人権上特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

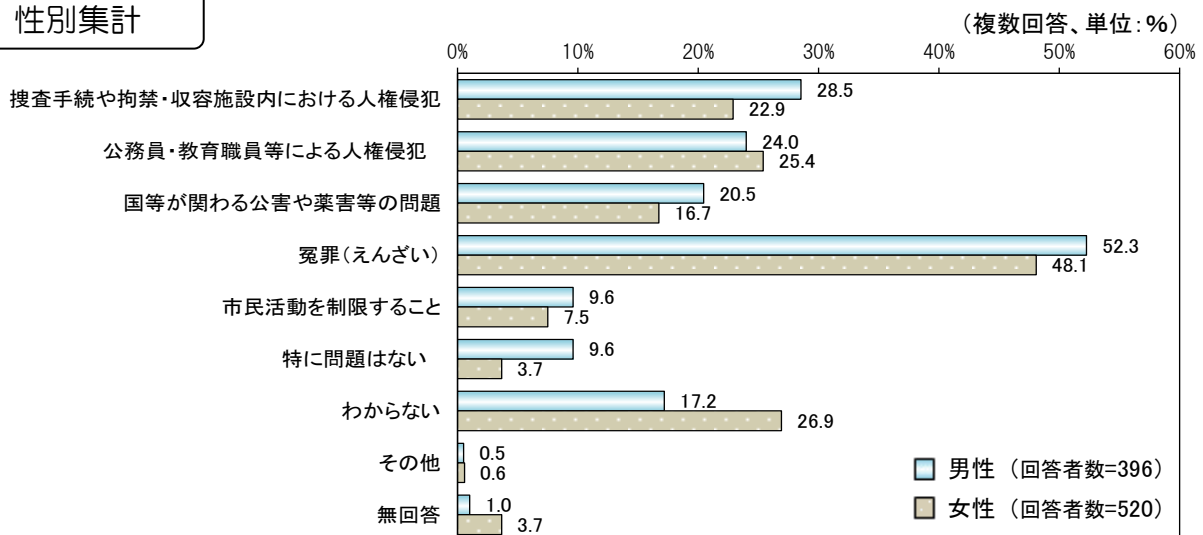
(複数回答、単位：%)

全体集計



「冤罪（えんざい）」の割合が49.0%と最も高く、次いで「わからない」が23.2%、「捜査手続や拘禁・収容施設内における人権侵犯」が24.9%となっている。

性別集計



性別で見ると、男女ともに「冤罪（えんざい）」の割合が最も高く（男性は52.3%、女性は48.1%）、次いで男性は「捜査手続や拘禁・収容施設内における人権侵犯」（28.5%）、女性は「わからない」（26.9%）、「公務員・教育職員等による人権侵犯」（男性は24.0%、女性は25.4%）となっている。

「わからない」が最も男女差が大きく、男性（17.2%）よりも女性（26.9%）の方が9.7ポイント高くなっている。

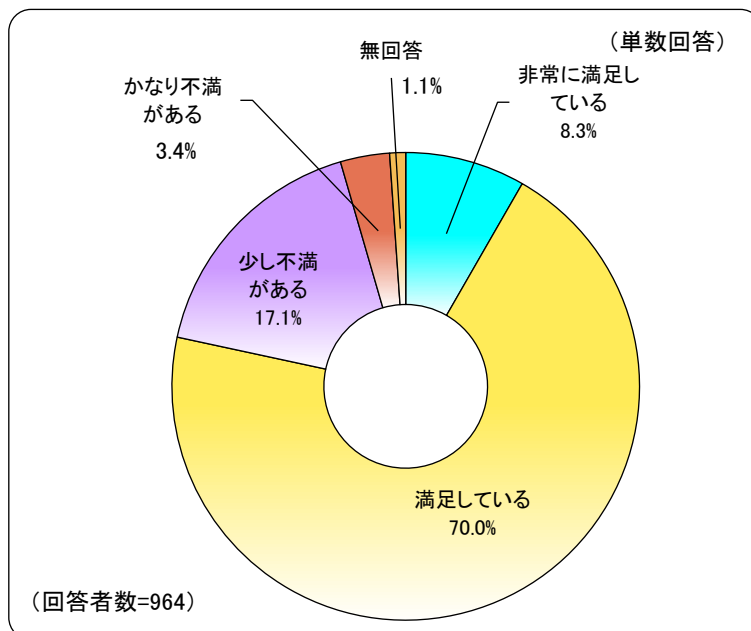
3. 市民相互の人権について

問7 近隣の人との人間関係に対する満足感

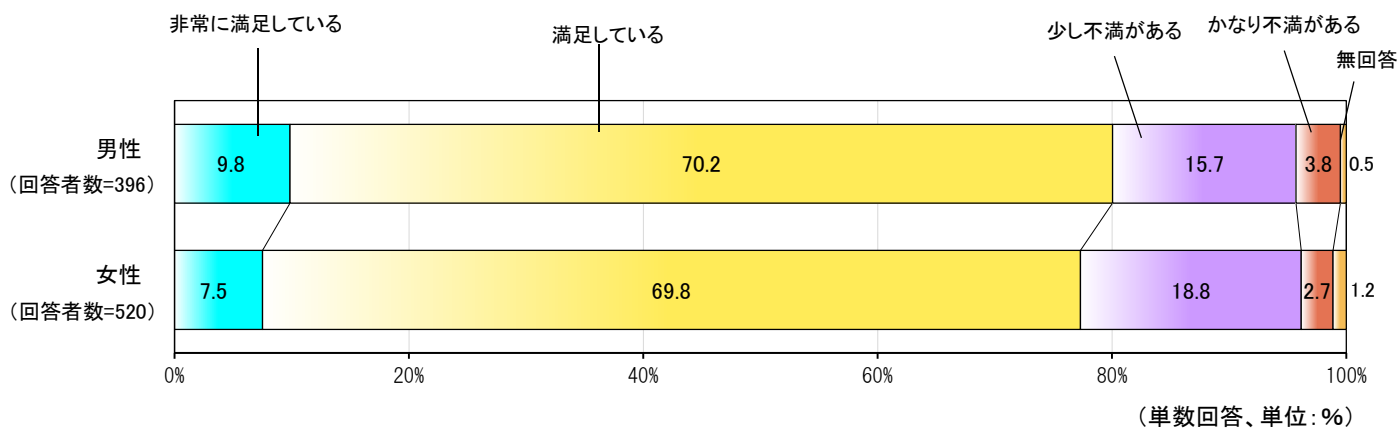
現在、あなたは近隣の人たちとの付き合いや人間関係に満足していますか。(〇は1つだけ)

全体集計

「非常に満足している」と「満足している」を合わせた78.3%が近隣の人との人間関係に満足していると感じ、「少し不満がある」と「かなり不満がある」を合わせた20.5%が不満と感じている。



性別集計



性別でみると、「非常に満足している」と「満足している」を合わせた満足している割合は、女性 (77.3%) よりも男性 (80.0%) の方が 2.7 ポイント高く、「少し不満がある」と「かなり不満がある」を合わせた不満がある割合については、男性 (19.5%) よりも女性 (21.5%) の方が 2.0 ポイント高くなっている。

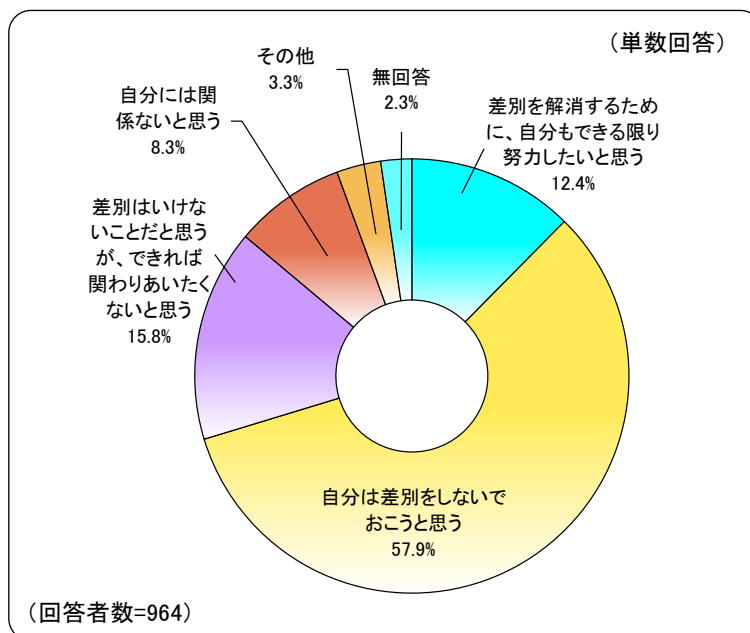
4. 同和問題（部落差別）について

問8 差別に関する意識

あなたは、同和問題(部落差別)と自分自身との関わりについてどのような意識を持っていますか。
(○は1つだけ)

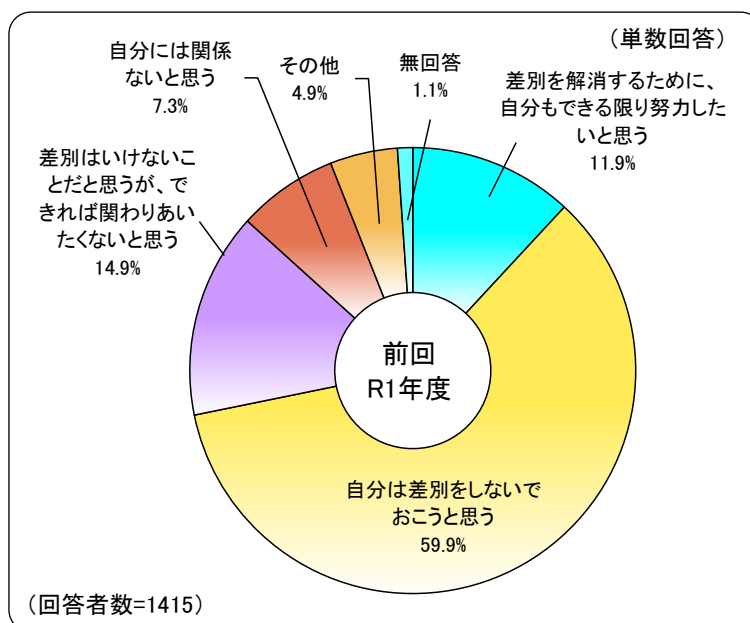
全体集計

「自分は差別をしないでおこうと思う」が 57.9%で最も高く、次いで「差別はいけないことだと思うが、できれば関わりあいたくないと思う」が 15.8%、「差別を解消するために、自分もできる限り努力したいと思う」が 12.4%となっている。



過去の調査との比較

今回の調査において、「自分は差別をしないでおこうと思う」の割合が前回に比べて 2.0 ポイント減少し、「差別はいけないことだと思うが、できれば関わりあいたくないと思う」が 0.9 ポイント増加している。



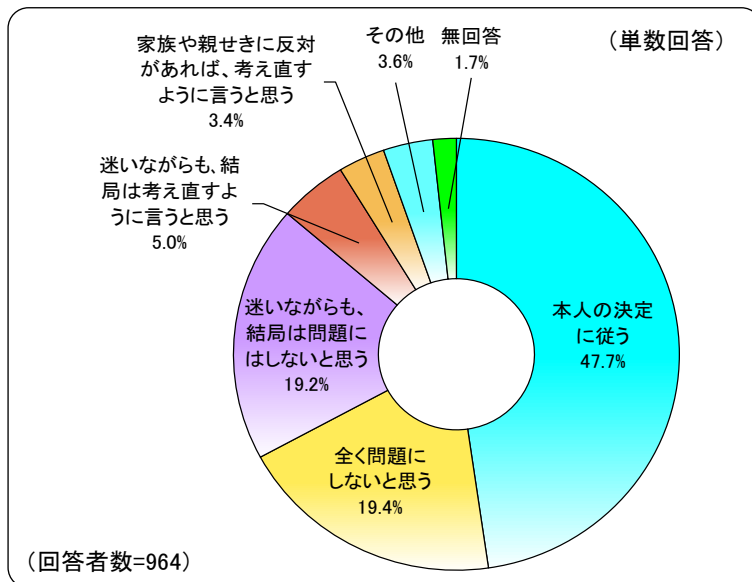
問9 結婚に対する姿勢

仮に、あなたのお子さんが出て、結婚したいといっている相手が同和地区の出身者だとわかった場合、あなたはどのようにしますか。(〇は1つだけ)

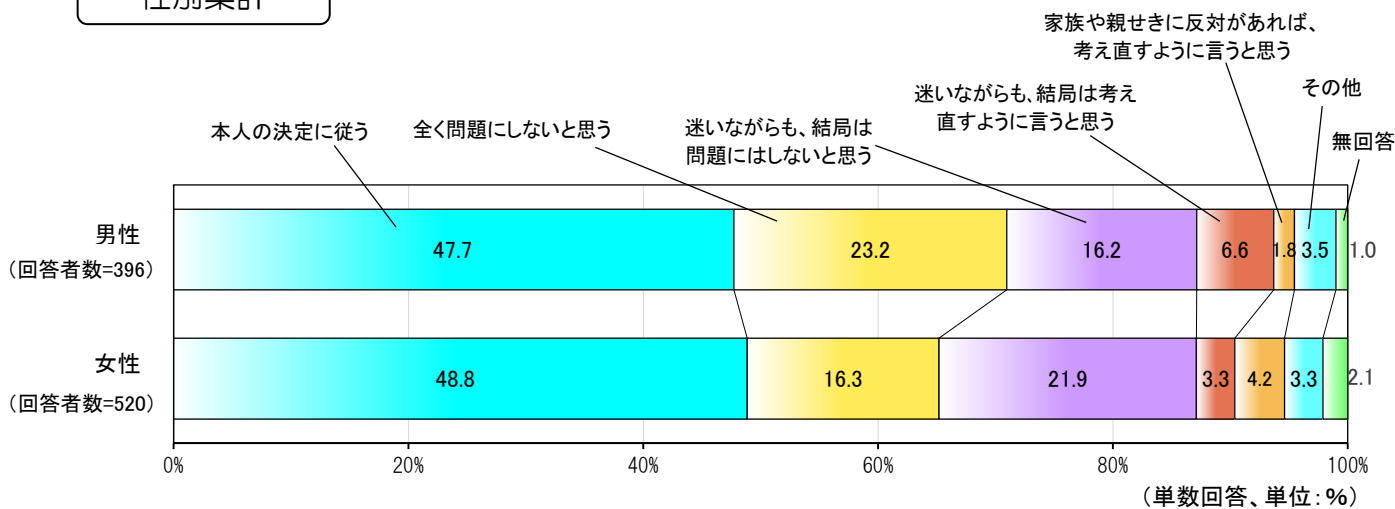
全体集計

「本人の決定に従う」が47.7%と最も高く、次いで「全く問題にしないと思う」が19.4%、「迷いながらも、結局は問題にはしないと思う」が19.2%となっている。

「本人の決定に従う」と「全く問題にしないと思う」と「迷いながらも、結局は問題にはしないと思う」を合わせた問題にはしないと思う割合は86.3%となっている。



性別集計



性別で見ると、男女ともに「本人の決定に従う」の割合が最も高く（男性は47.7%、女性は48.8%）、次いで男性は「全く問題にしないと思う」（23.2%）、女性では「迷いながらも、結局は問題にはしないと思う」（21.9%）となっている。

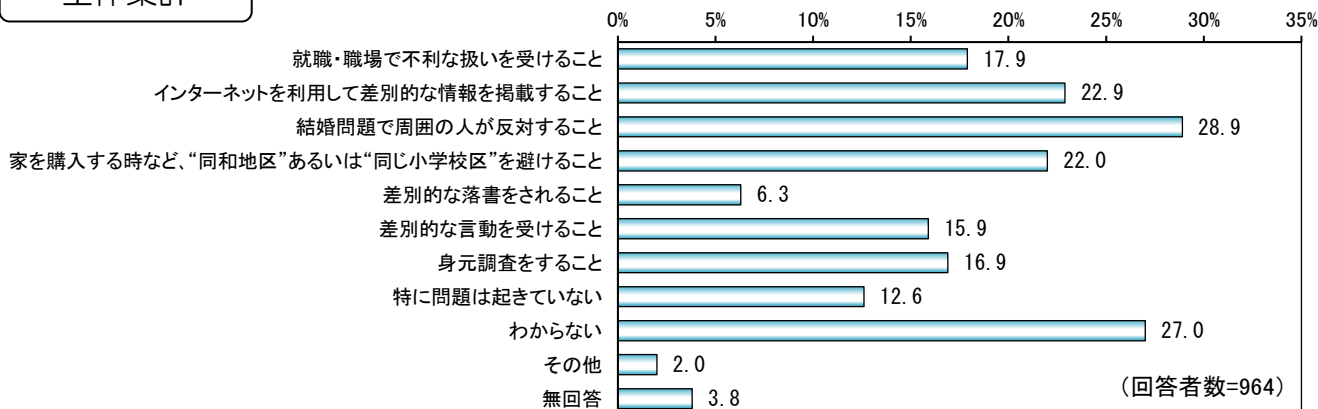
「本人の決定に従う」、「全く問題にしないと思う」、「迷いながらも、結局は問題にはしないと思う」を合わせた、結果的には問題にしないと答えた割合は男性（87.1%）、女性（87.0%）とほぼ同じ割合となっている。

問10 同和問題（部落差別）に対する人権上の問題点

あなたは、同和問題（部落差別）に関して、現在、特にどのような問題が起きていると思いますか。
（〇はいくつでも）

全体集計

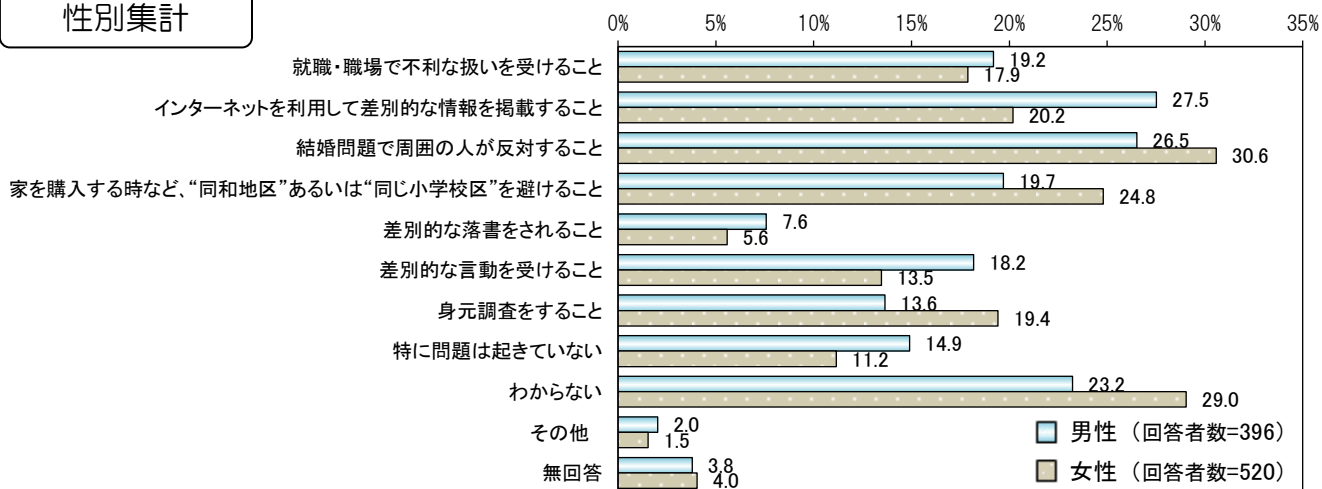
（複数回答、単位：%）



「結婚問題で周囲の人が反対すること」の割合が 28.9%と最も高く、次いで「わからない」が 27.0%、「インターネットを利用して差別的な情報を掲載すること」が 22.9%となっている。

性別集計

（複数回答、単位：%）



性別でみると、男性は「インターネットを利用して差別的な情報を掲載すること」の割合が最も高く（27.5%）、次いで「結婚問題で周囲の人が反対すること」（26.5%）、「わからない」（23.2%）となっている。女性は、「結婚問題で周囲の人が反対すること」の割合が最も高く（30.6%）、次いで「わからない」（29.0%）、「家を購入する時など、“同和地区”あるいは“同じ小学校区”を避けること」（24.8%）となっている。

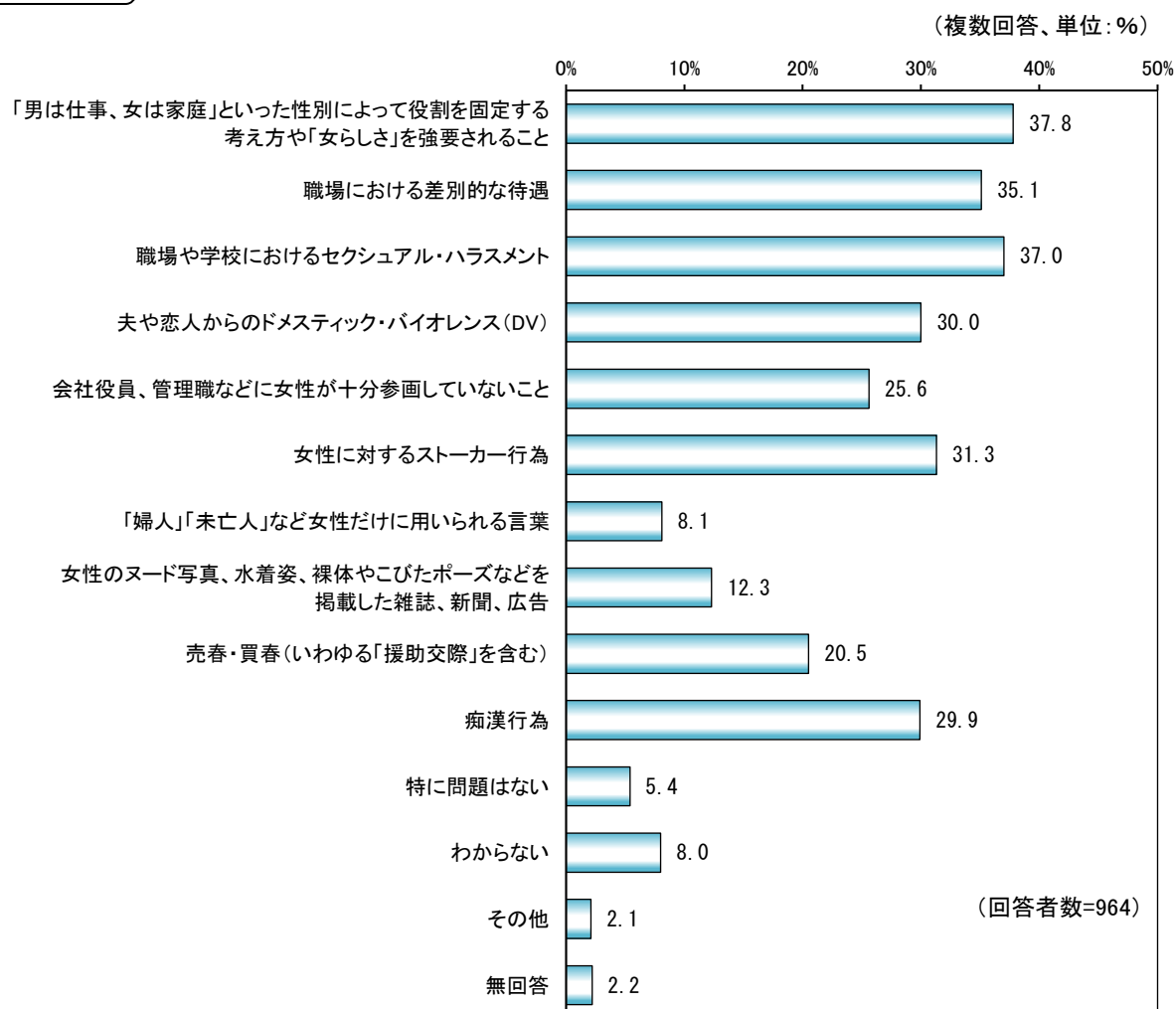
「インターネットを利用して差別的な情報を掲載すること」が最も男女差が大きく、女性（20.2%）よりも男性（27.5%）の方が 7.3 ポイント高くなっている。

5. 女性の人権について

問11 女性に関する人権上の問題点

あなたは、女性の人権問題について、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。
(〇はいくつでも)

全体集計



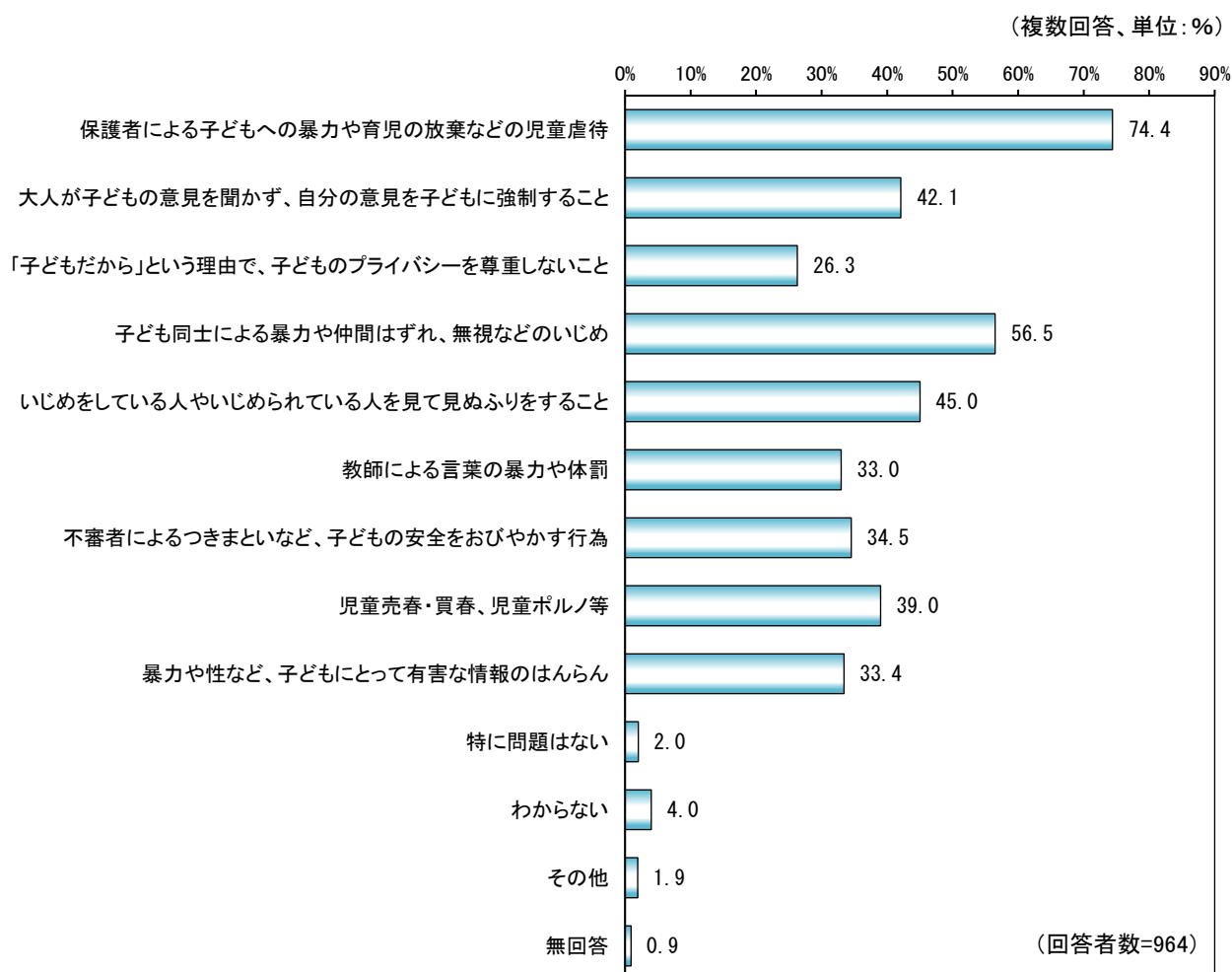
「『男は仕事、女は家庭』といった性別によって役割を固定する考え方や『女らしさ』を強要されること」の割合が37.8%と最も高く、次いで「職場や学校におけるセクシュアル・ハラスメント」が37.0%、「職場における差別的な待遇」が35.1%となっている。

6. 子どもの人権について

問12 子どもに関する人権上の問題点

あなたは、子どもに関する人権上の問題について、現在、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

全体集計



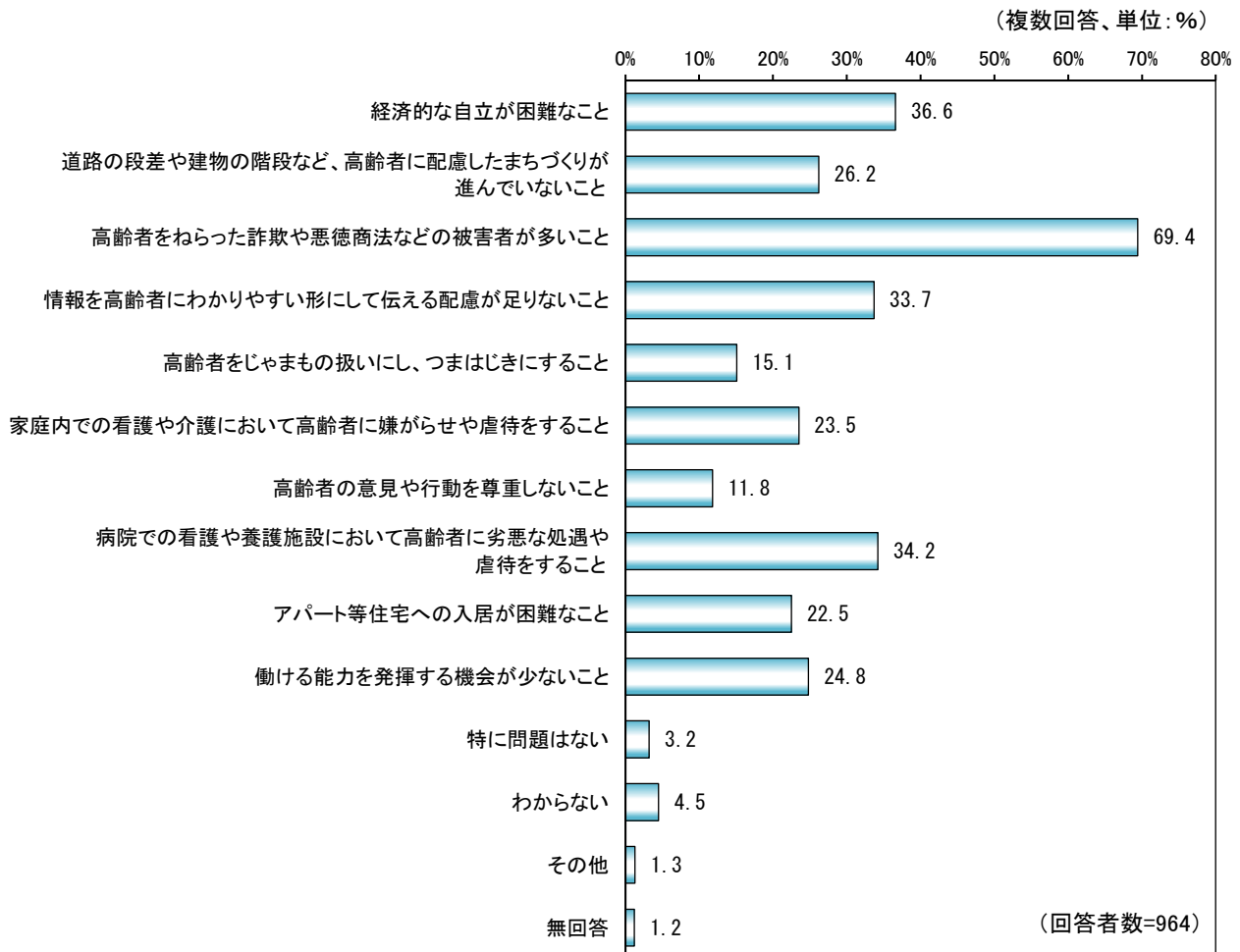
「保護者による子どもへの暴力や育児の放棄などの児童虐待」の割合が74.4%と最も高く、次いで「子ども同士による暴力や仲間はずれ、無視などのいじめ」が56.5%、「いじめをしている人やいじめられている人を見て見ぬふりをする事」が45.0%となっている。

7. 高齢者の人権について

問13 高齢者に関する人権上の問題点

あなたは、高齢者の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。
(〇はいくつでも)

全体集計



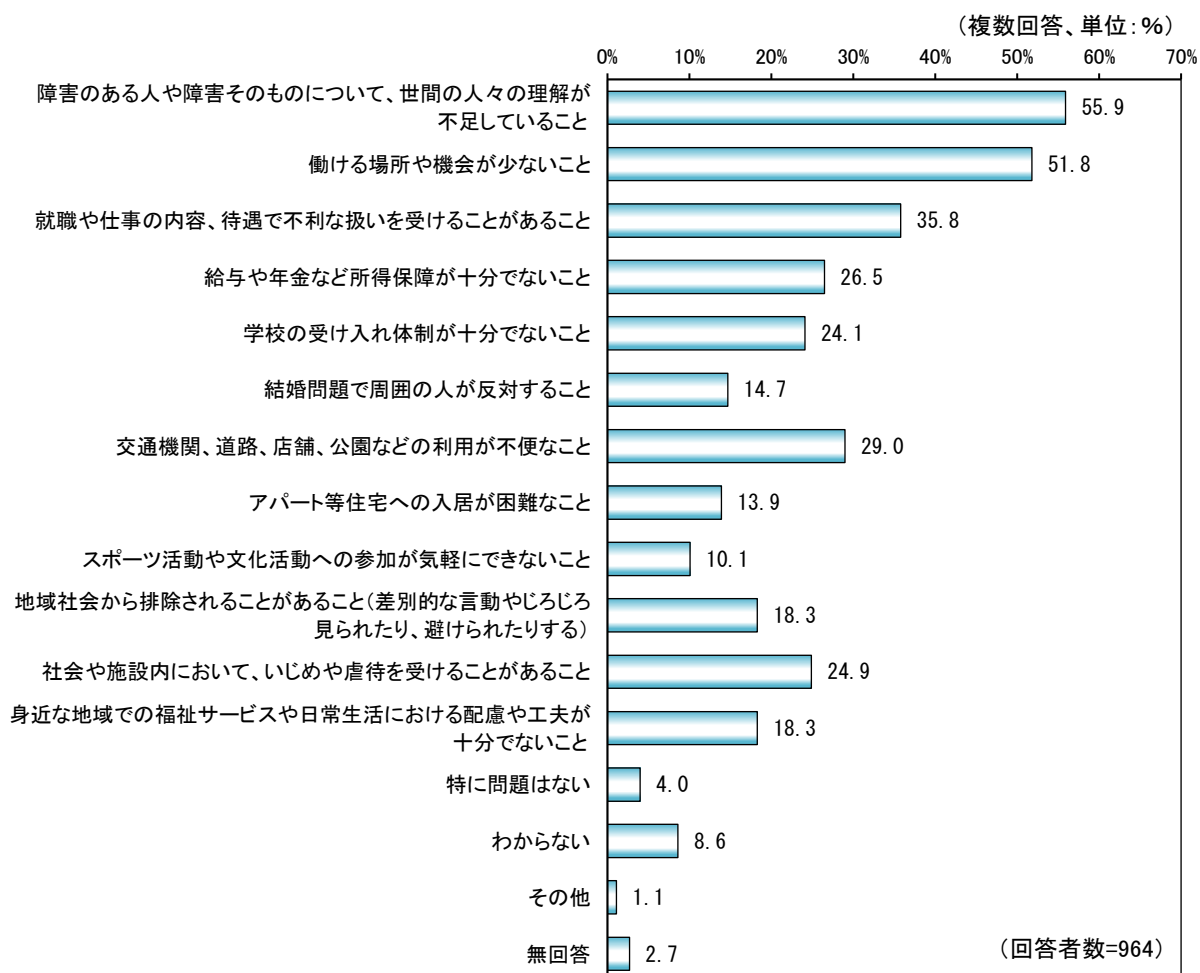
「高齢者をねらった詐欺や悪徳商法などの被害者が多いこと」の割合が 69.4%と最も高く、次いで「経済的な自立が困難なこと」が 36.6%、「病院での看護や養護施設において高齢者に劣悪な処遇や虐待をすること」が 34.2%となっている。

8. 障害のある人の人権について

問14 障害のある人に関する人権上の問題点

障害のある人についてのことがらで、人権上特に問題があると思われるのはどのようなことですか。
(〇はいくつでも)

全体集計



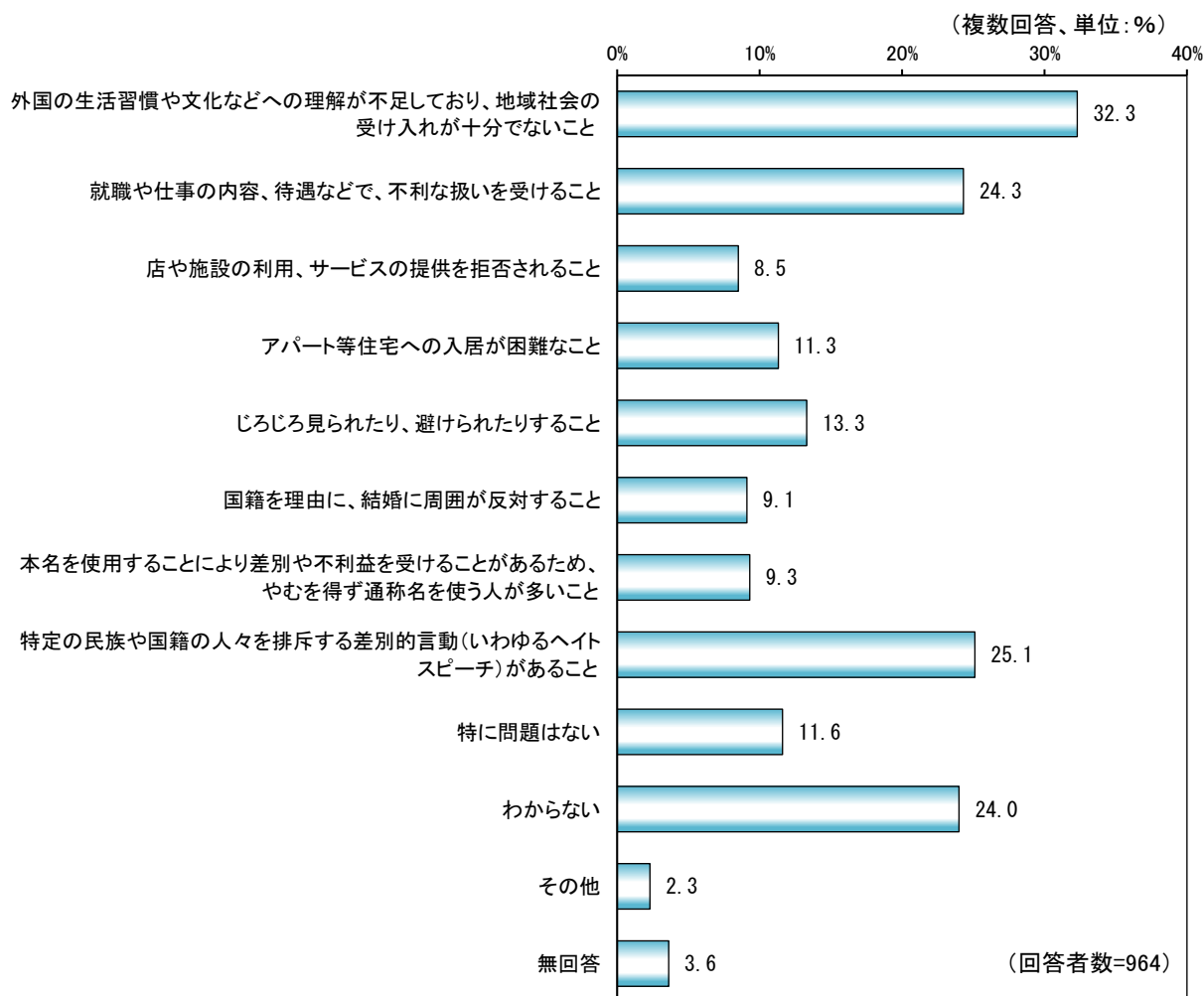
「障害のある人や障害そのものについて、世間の人々の理解が不足していること」の割合が55.9%と最も高く、次いで「働ける場所や機会が少ないこと」が51.8%、「就職や仕事の内容、待遇で不利な扱いを受けることがあること」が35.8%となっている。

9. 外国人の人権について

問15 外国人に関する人権上の問題点

あなたは、外国人の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。
(〇はいくつでも)

全体集計



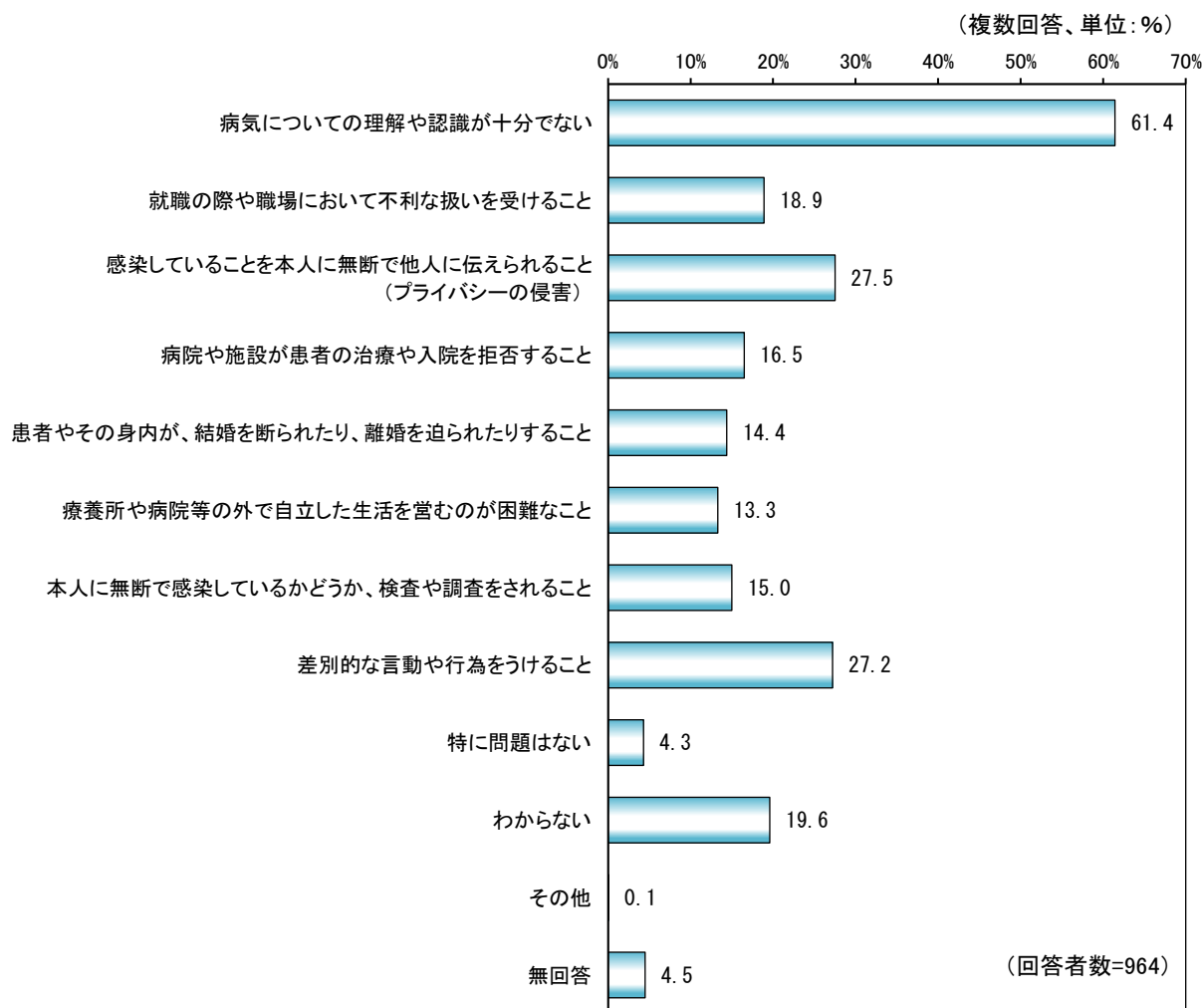
「外国の生活習慣や文化などへの理解が不足しており、地域社会の受け入れが十分でないこと」の割合が 32.3%と最も高く、次いで「特定の民族や国籍の人々を排斥する差別的言動（いわゆるヘイトスピーチ）があること」が 25.1%、「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること」が 24.3%となっている。

10. 感染症（ハンセン病、HIV等）・難病患者等の人権について

問16 感染症（ハンセン病、HIV等）・難病患者等に関する人権上の問題点

あなたは、感染症（ハンセン病、HIV等）・難病患者等の方々に対して、人権の尊重という点からみて特に問題があると思われるのはどのようなことですか。（〇はいくつでも）

全体集計



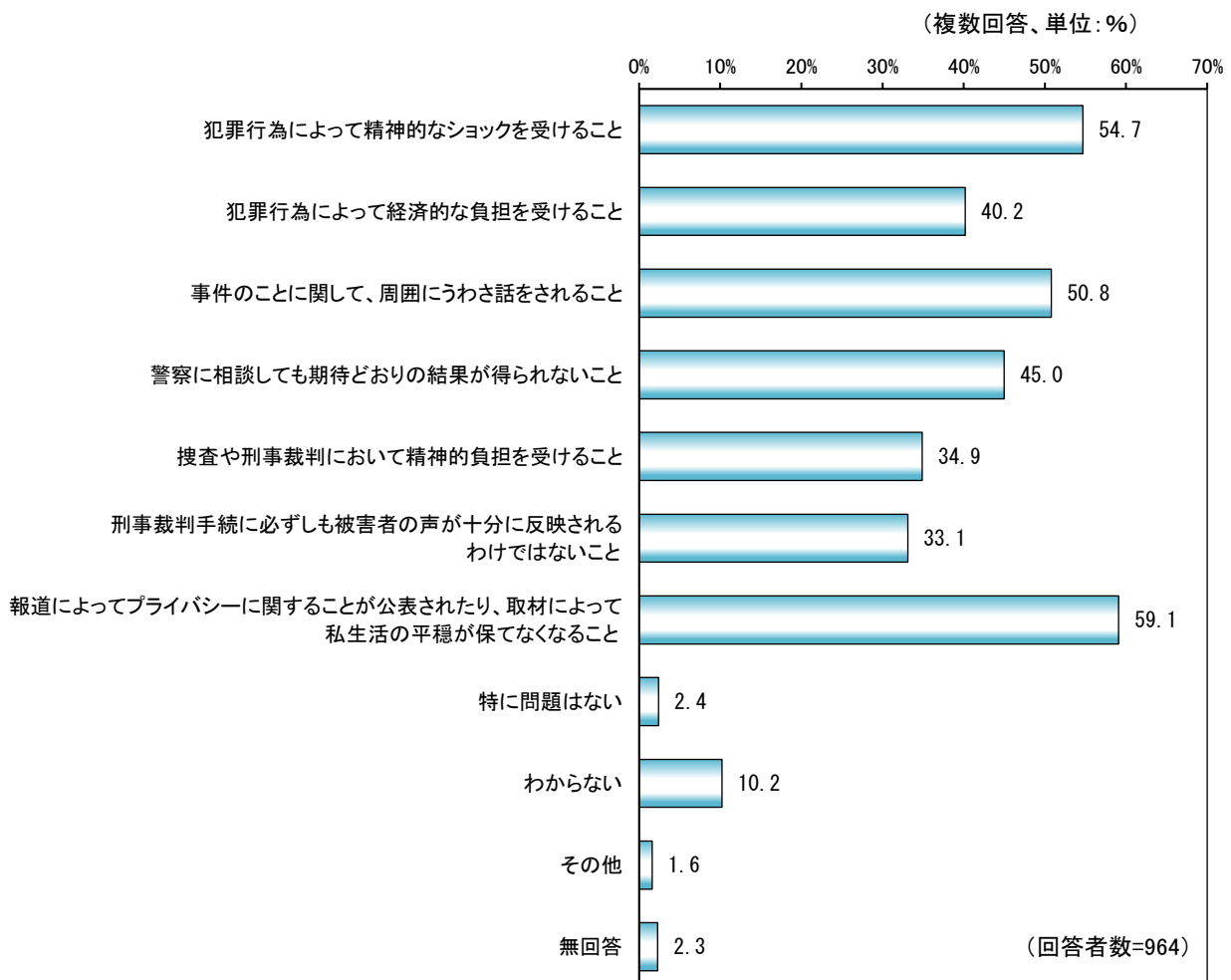
「病気についての理解や認識が十分でない」の割合が61.4%と最も高く、次いで「感染していることを本人に無断で他人に伝えられること（プライバシーの侵害）」が27.5%、「差別的な言動や行為をうけること」が27.2%となっている。

11. 犯罪被害者及びその家族の人権について

問17 犯罪被害者とその家族に関する人権上の問題点

あなたは、犯罪被害者とその家族の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

全体集計



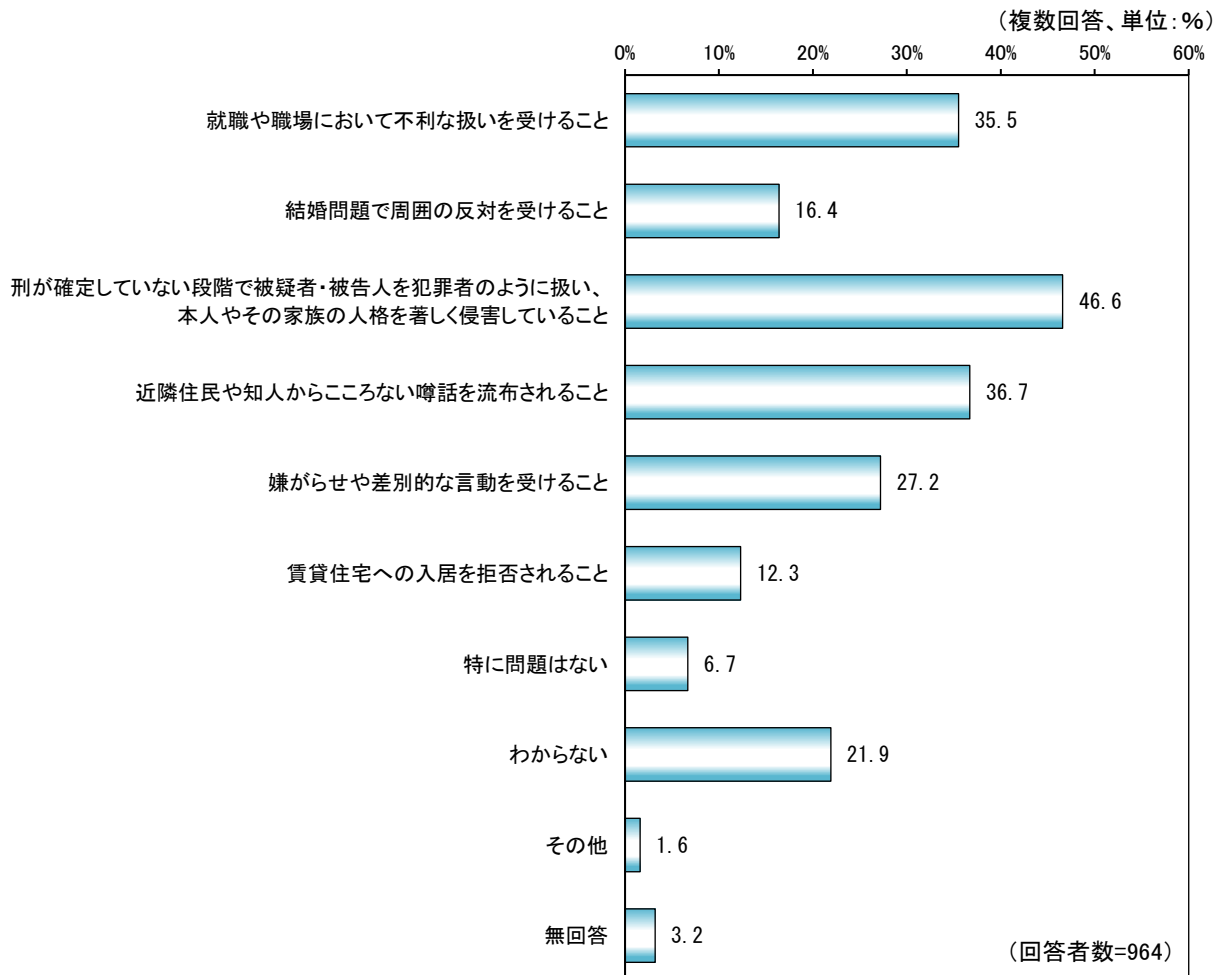
「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」の割合が59.1%と最も高く、次いで「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」が54.7%、「事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること」が50.8%となっている。

12. 刑事手続きに関わりをもった人の人権について

問18 刑事手続きに関わりをもった人に関する人権上の問題点

あなたは、刑事手続きに関わりをもった人(刑務所などを出所した人や被疑者、被告人など)の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

全体集計



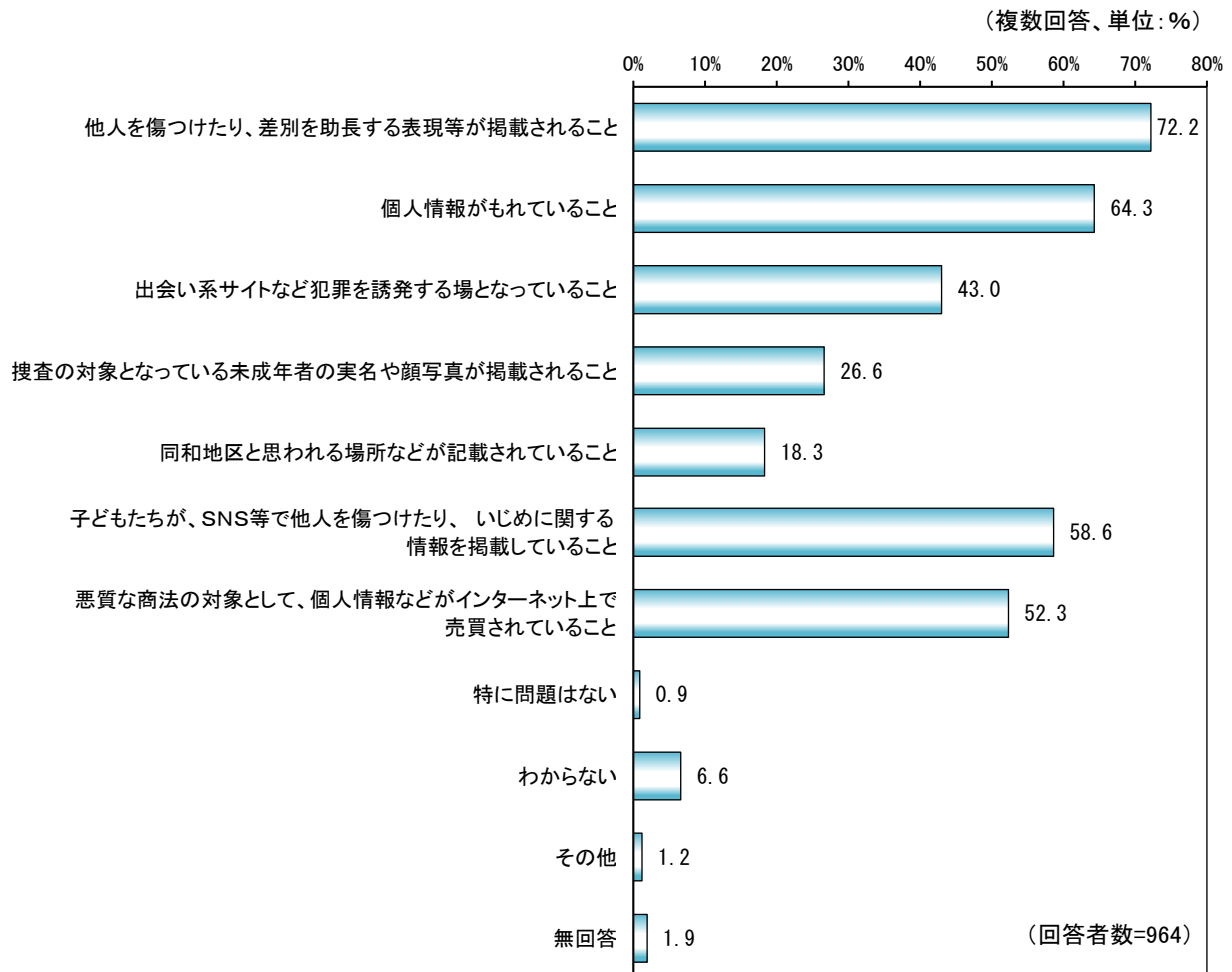
「刑が確定していない段階で被疑者・被告人を犯罪者のように扱い、本人やその家族の人格を著しく侵害していること」の割合が46.6%と最も高く、次いで「近隣住民や知人からこころない噂話を流布されること」が36.7%、「就職や職場において不利な扱いを受けること」が35.5%となっている。

13. インターネット等における人権について

問19 情報化社会（インターネット等）における人権上の問題点

あなたは、現在の情報化社会（インターネット等）で、特にどのような人権侵害の問題が起きていると思いますか。（〇はいくつでも）

全体集計



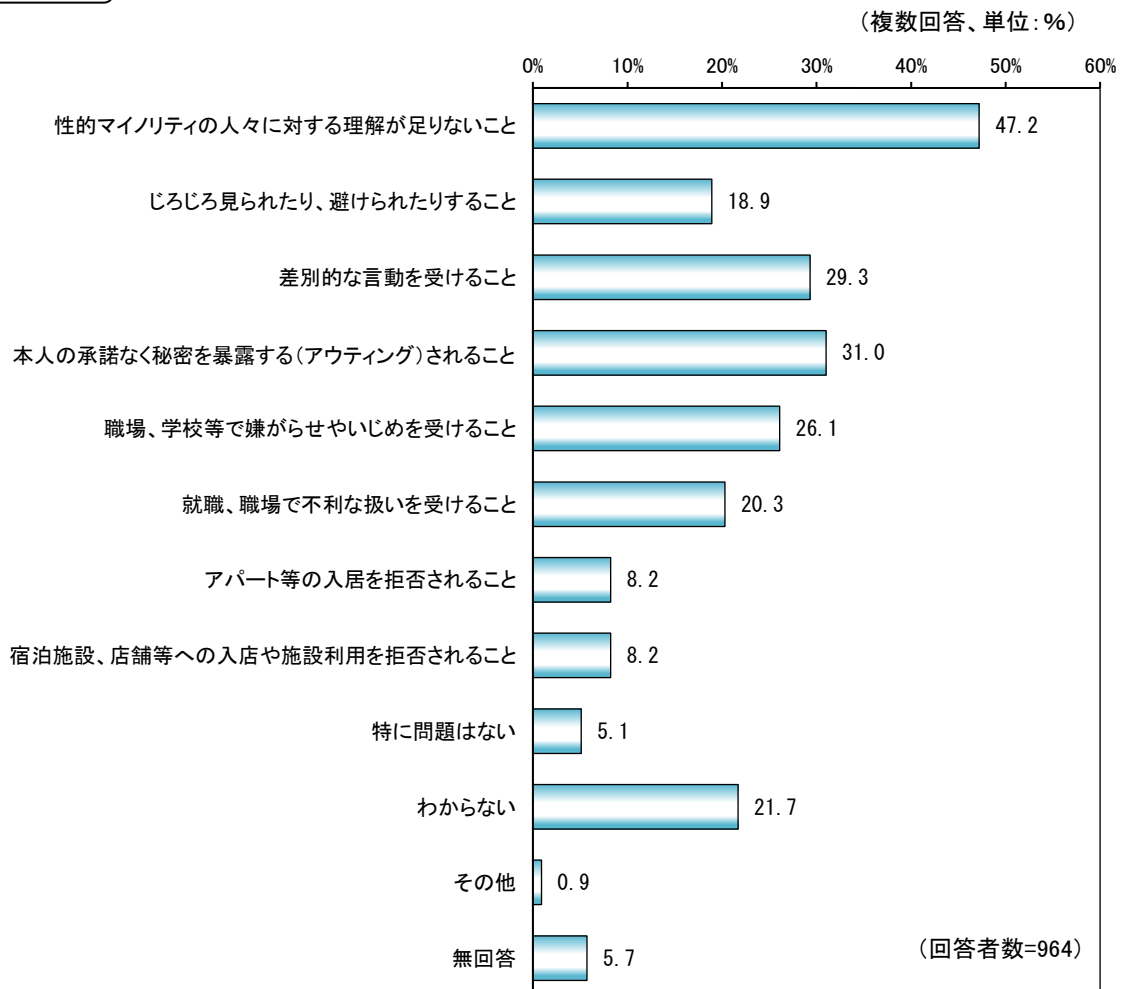
「他人を傷つけたり、差別を助長する表現等が掲載されること」の割合が 72.2%と最も高く、次いで「個人情報がもれていること」が 64.3%、「子どもたちが、SNS等で他人を傷つけたり、いじめに関する情報を掲載していること」が 58.6%となっている。

14. 性的マイノリティの人の人権について

問20 性的マイノリティの人に関する人権上の問題点

あなたは、性的マイノリティの人に、どのような人権問題が起きていると思いますか。(〇はいくつでも)

全体集計



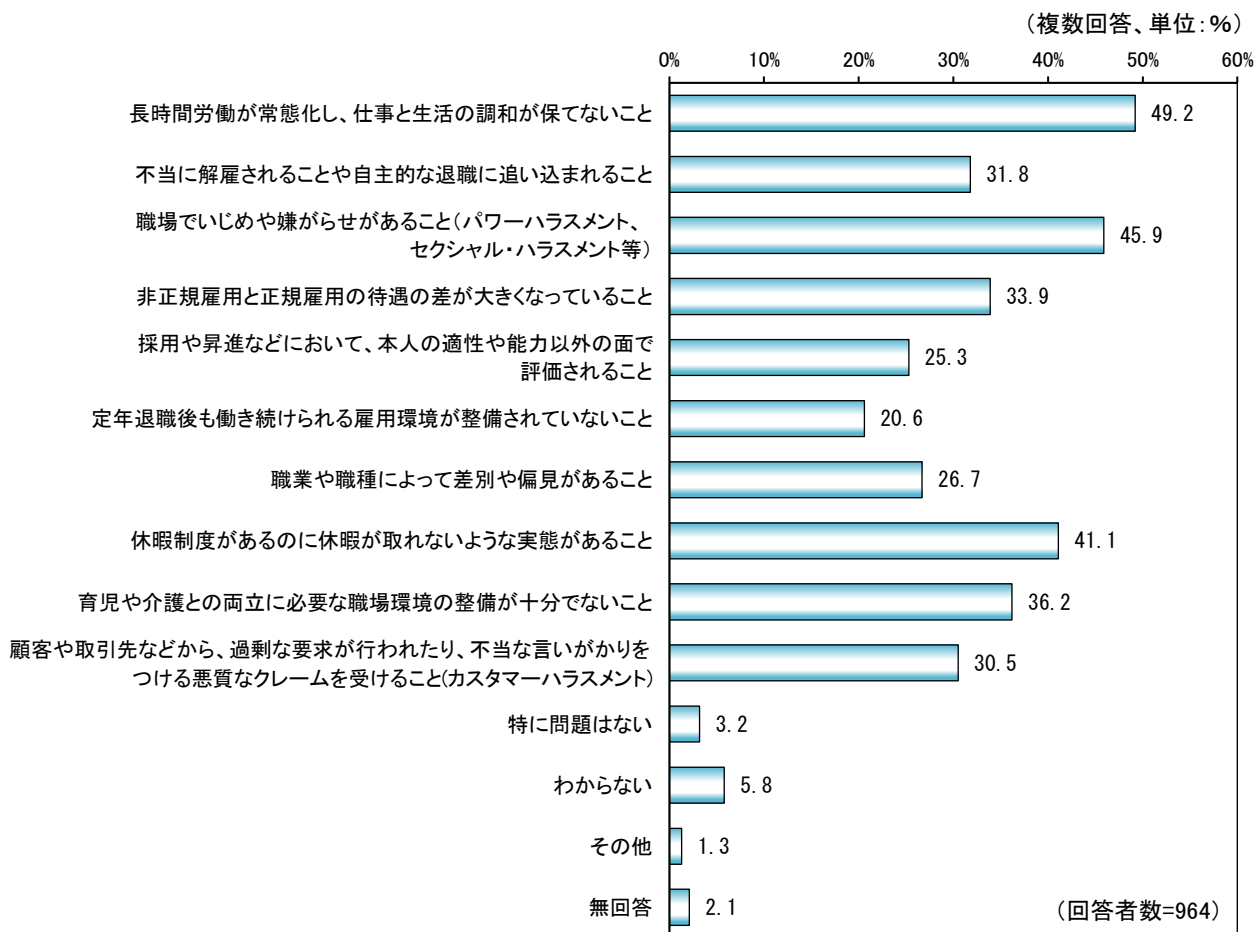
「性的マイノリティの人々に対する理解が足りないこと」の割合が 47.2%と最も高く、次いで「本人の承諾なく秘密を暴露する(アウティング)されること」が 31.0%、「差別的な言動を受けること」が 29.3%となっている。

15. 働く人の人権について

問21 働く人に関する人権上の問題点

あなたは、働く人に関することがらで、特にどのようなことが問題だと思いますか。(〇はいくつでも)

全体集計



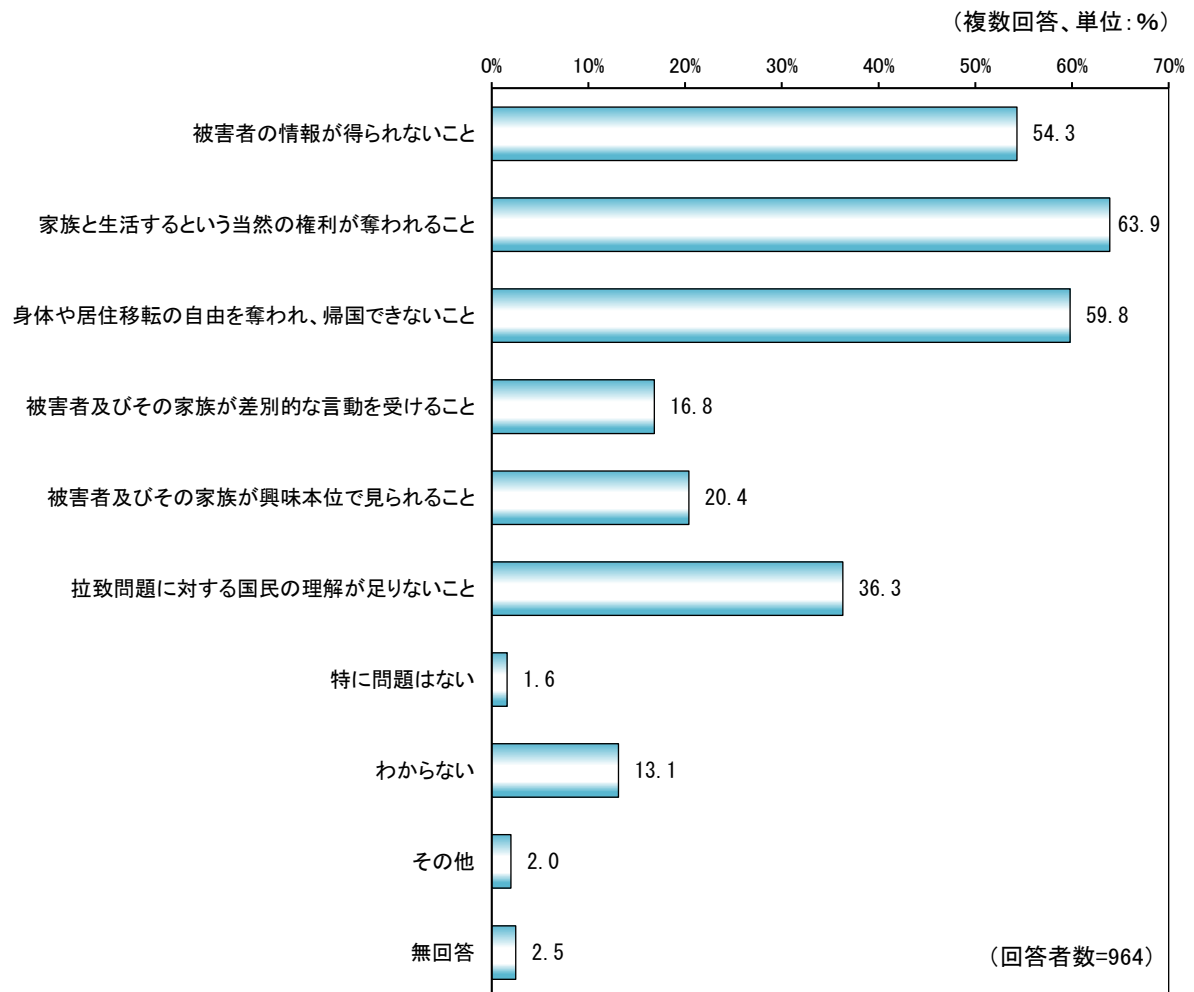
「長時間労働が常態化し、仕事と生活の調和が保てないこと」の割合が49.2%と最も高く、次いで「職場でいじめや嫌がらせがあること(パワー・ハラスメント、セクシャル・ハラスメント等)」が45.9%、「休暇制度があるのに休暇が取れないような実態があること」が41.1%となっている。

16. 拉致問題について

問22 拉致問題に関する人権上の問題点

あなたは、北朝鮮当局による日本人拉致問題について、特にどのようなことが問題だと思いますか。
(〇はいくつでも)

全体集計



「家族と生活するという当然の権利が奪われること」の割合が63.9%と最も高く、次いで「身体や居住移転の自由を奪われ、帰国できないこと」が59.8%、「被害者の情報が得られないこと」が54.3%となっている。

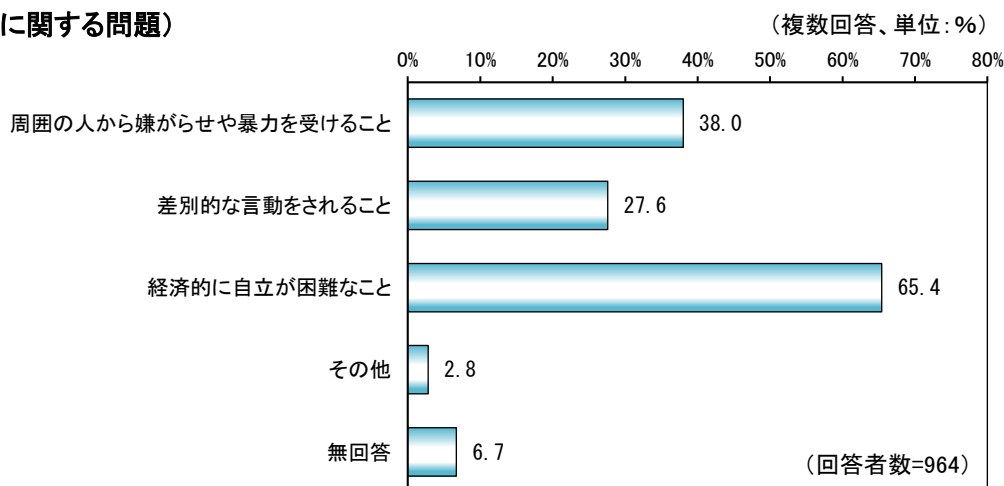
17. さまざまな人権問題について

問23 ホームレス、自死（自殺）、プライバシーの保護に関する人権上の問題点

あなたは、ホームレスの人権・自死（自殺）に関わる人権・プライバシーの保護に関することがらについて、特にどのようなことが問題だと思えますか。（〇はいくつでも）

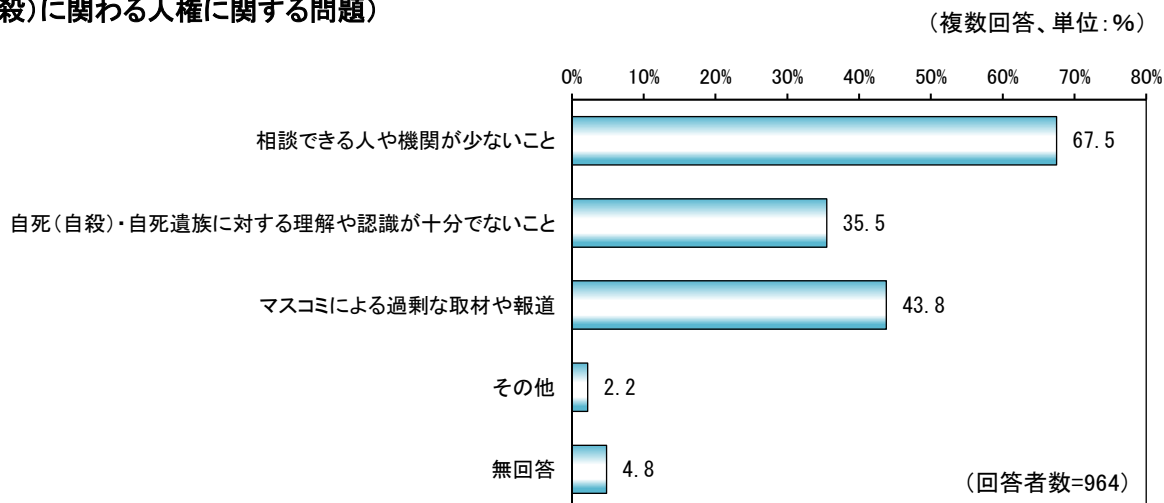
全体集計

（ホームレスの人権に関する問題）



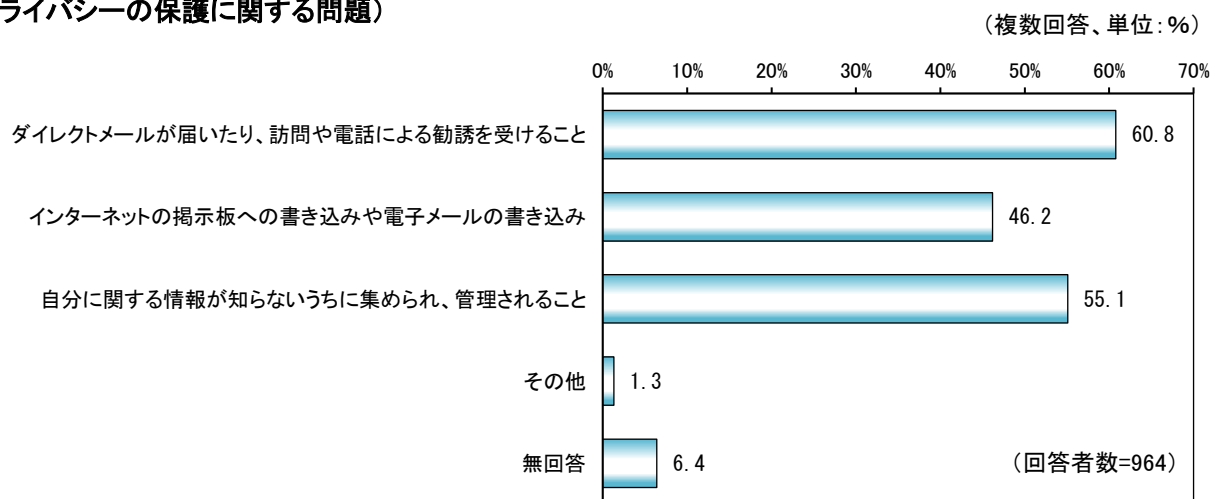
「経済的に自立が困難なこと」の割合が 65.4%と最も高く、次いで「周囲の人から嫌がらせや暴力を受けること」が 38.0%、「差別的な言動をされること」が 27.6%となっている。

（自死（自殺）に関わる人権に関する問題）



「相談できる人や機関が少ないこと」の割合が 67.5%と最も高く、次いで「マスコミによる過剰な取材や報道」が 43.8%、「自死（自殺）・自死遺族に対する理解や認識が十分でないこと」が 35.5%となっている。

(プライバシーの保護に関する問題)



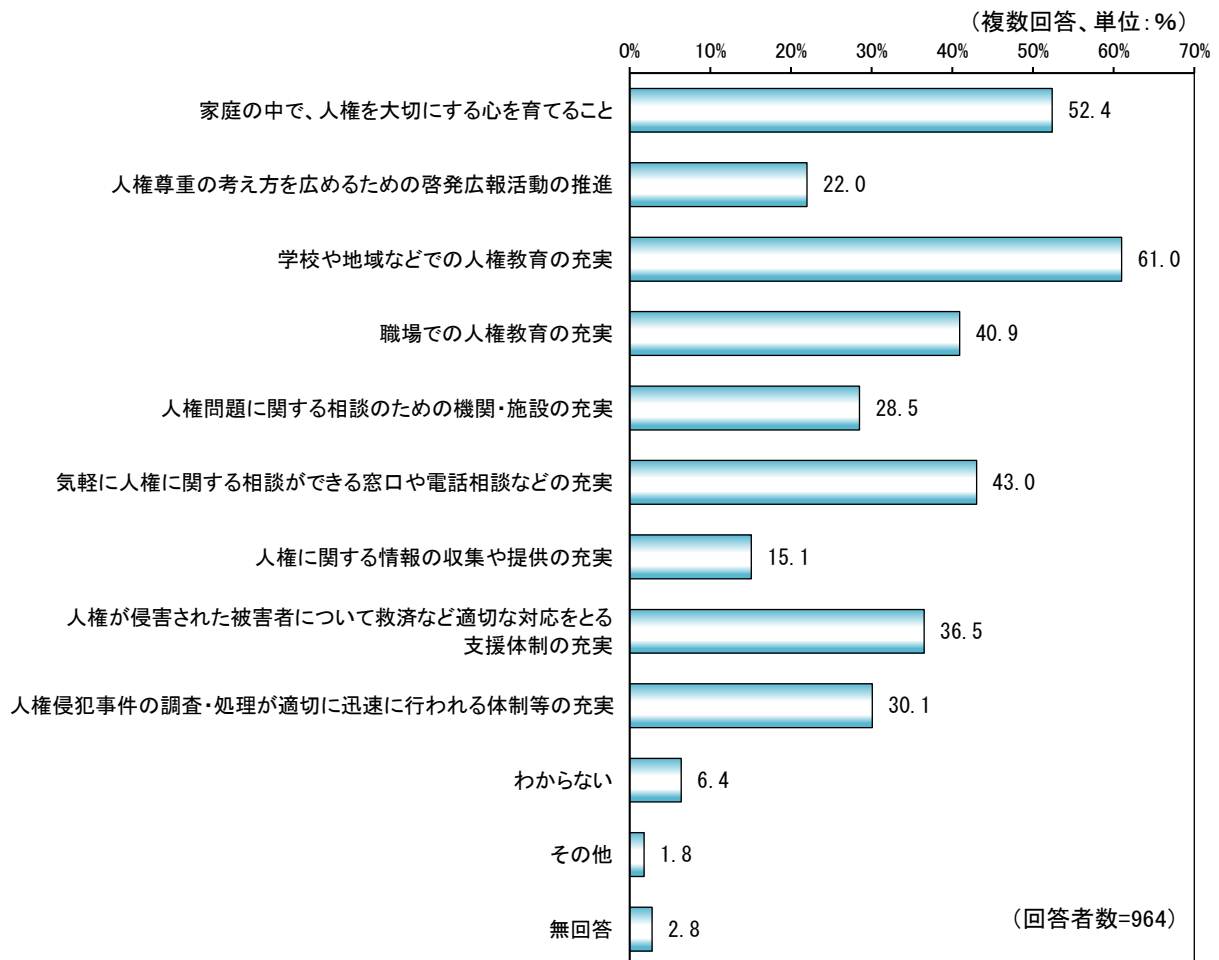
「ダイレクトメールが届いたり、訪問や電話による勧誘を受けること」の割合が 60.8%と最も高く、次いで「自分に関する情報が知らないうちに集められ、管理されること」が 55.1%、「インターネットの掲示板への書き込みや電子メールの書き込み」が 46.2%となっている。

18. 今後の取組について

問24 人権が尊重される社会を実現するための方策

「人権」が尊重される社会を実現するためには、今後、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。(〇はいくつでも)

全体集計



「学校や地域などでの人権教育の充実」が61.0%と最も高く、次いで「家庭の中で、人権を大切にする心を育てること」が52.4%、「気軽に人権に関する相談ができる窓口や電話相談などの充実」が43.0%となっている。

人権問題に関する意識調査

—報告書—
(概要版)

2026年(令和8年)3月発行

和歌山市

市民環境局 市民部 人権同和施策課

〒640-8511 和歌山市七番丁23番地

電話 073-435-1058